

令和5年度 第1回能代市活力ある高齢化推進委員会

日 時 令和5年7月10日(月)
午後6時30分～
場 所 能代市役所 会議室9・10

次 第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 委員・事務局の紹介 … P 1
- 4 案件
 - (1) 能代市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 … P 2
 - ・令和4年度の実績評価の報告
 - (2) 令和4年度能代市地域包括支援センター事業実績の報告 … P 2 9
 - (3) 各種調査の結果概要の報告
 - ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 … P 3 4
 - ・在宅介護実態調査 … P 5 6
 - (4) 能代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定
スケジュール(案)について … P 6 2
- 5 その他
- 6 閉会

能代市活力ある高齢化推進委員会名簿 (R3. 8. 1 ~ R6. 7. 31)

区分	団体	氏名	備考
1 介護保険の被保険者 (6名)	能代市自治会連合協議会	ワタベ コウスケ 渡邊 耕佑	
	二ツ井地区区長連絡協議会	アキハヤシ ノブヨシ 秋林 信郎	
	能代市老人クラブ連合会	コバヤシ カスナリ 小林 一成	
	能代市連合婦人会	アシナ サナエ 芦名 早苗	地域密着部会
	能代ボランティア連絡協議会	ハラタ カオル 原田 かほる	
	公募	イマムラ ケイチ 今村 慶一	
2 介護サービス及び介護予防 サービスの事業者 (2名)	県北地区介護支援専門員協会	ハカマタ コウキ 袴田 光樹	地域密着部会
	県北地区介護支援専門員協会	マツダ ススム 松田 進	地域密着部会
3 地域における保健・医療・福祉 関係者 (8名)	山本地域振興局福祉環境部	ヨシダ コウジ 吉田 浩二	(任期) R4.4.27~
	(一社)能代市山本郡医師会	コイスマ リョウ 小泉 亮	◎委員長 地域密着部会
	能代市山本郡歯科医師会	ムラオカ ヒロカズ 村岡 紘和	
	看護協会能代山本地区支部	クマガイ マリコ 熊谷 真理子	
	秋田県薬剤師会能代山本支部	タグチ カズヨシ 田口 和義	地域密着部会
	能代市民生委員児童委員協議会	ツチサキ ヒロユキ 土崎 博之	
	能代市社会福祉協議会	ツチヤ モトハル 土谷 幹春	
	能代市健康推進員協議会	ヌカワ ユミコ 布川 有美子	(任期) R5.5.16~
4 学識経験者 (1名)	介護関係講師、福祉人材コンサルタント	アベ ミエコ 安部 美恵子	○副委員長 地域密着部会
	計	17名	

4 案件

- (1) 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
・令和4年度の実績評価の報告

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	I 高齢者の積極的な社会参加
現状と課題	
<p>本市の人口は減少傾向にあります。令和5年3月末現在の高齢化率は41.8%であり、今後も上昇が見込まれております。令和7年度には高齢者の6割は後期高齢者になると予想されていることから、高齢者が積極的に社会参加できる環境整備の充実が必要であります。一方で、単位老人クラブ数、会員数は減少してきています。組織の高齢化、役員の担い手不足等が課題です。</p>	
具体的な取組	
<p>(取組の対象者、参加者など) 能代市老人クラブ連合会、松寿連合会、各老人クラブ（単組）。</p> <p>(取組の内容)</p> <ul style="list-style-type: none">○生きがいきり活動等の支援の充実 老人クラブ社会活動促進事業、地域福祉活動補助事業を行い、敬老行事の開催を支援します。○生涯学習の充実 保坂福祉学園（健康ヨガ教室、健康麻雀頭脳教室、きらり能代しなやかサロン等）、松寿大学、健康づくりスポーツ大会等を開催します。○高齢者就業の支援 シルバー人材センターへの助成と運営を支援します。（商工労働課との連携）○地域活動参加促進のための環境整備 上記の取組を通じて、高齢者の社会参加意識の醸成を図るとともに、元気な高齢者等が担い手として社会参加できる環境整備を進めます。	
目標（事業内容、指標等）	
<ul style="list-style-type: none">○高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者を指標とします。 高齢者の生きがいと健康づくり事業の内訳 保坂福祉学園（能代地域）、松寿大学（二ツ井地域）、社会参加活動講演会、健康づくりスポーツ大会、高齢者芸能発表の集い、いきいきふれ愛の集い <p>※平時の目標は5,000人ですが、コロナ禍のため従来のような開催は難しいことから、令和2年度実績と同水準の1,500人を目標としております。</p>	

目標の評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など</p> <p>能代市老人クラブ連合会、松寿会連合会、各老人クラブ（単組）と連携を図りながら事業を展開します。</p> <p>参加者への影響など</p> <p>能代市老人クラブ連合会から、「多くの方から楽しく事業に参加している」等の声をいただいている。</p> <p>高齢者の生きがいや健康づくりの充実に資している事業である。</p> <p>地域への影響など</p> <p>「きらり能代しなやかサロン」は、地域に出向いて開催するフレイル予防を兼ねたサロンである。コロナ禍においても小規模で開催でき、良い影響を地域に及ぼすものと考えられる。</p>

取組と目標に対する自己評価シート
（Ⅰ 高齢者の積極的な社会参加）
実績評価

実施内容					
<p>高齢者の生きがいと健康づくり事業の実施により、スポーツ・教室など趣味活動の場を提供し、高齢者の介護予防及び生きがいづくり・健康づくり等社会参加の促進を図りました。</p>					
自己評価結果					
<p>※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること</p>					
<p>【○】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>参加人数の目標値</td> <td style="text-align: center;">1, 500人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度の実績値</td> <td style="text-align: center;">2, 527人</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、事業の規模縮小や中止があったものの、地域に出向いて開催する「きらり能代しなやかサロン」が好評で、3年度（1, 147人）と比較して2倍以上の実績となり、目標を達成しました。</p>		参加人数の目標値	1, 500人	令和4年度の実績値	2, 527人
参加人数の目標値	1, 500人				
令和4年度の実績値	2, 527人				
課題と対応策					
<p>地域で小規模で開催できる「きらり能代しなやかサロン」のように、感染症対策を講じながら高齢者の生きがいと健康づくりに効果がある講座の磨き上げについて、市老連等と連携しながら取り組んでいく必要があります。</p>					

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅱ 自立生活の支援
-------------	------------------

現状と課題

在宅介護実態調査結果では、介護者の半数程度は就労しており、多くは50～60代ですが、介護者の高齢化も進んでいることから、住み慣れた地域で在宅生活を続けるための介護支援の充実が必要となっております。

そのため、高齢者福祉サービスが必要な方へ適切にサービスが利用いただけるよう、地域包括支援センターや社会福祉協議会、民生委員等と連携を図っておりますが、今後も高齢化が進行すると見込まれる本市において、更なる連携を図っていく必要があります。

養護老人ホームや高齢者の交流・研修の場として設置している施設の老朽化が進んでおり、施設の長寿命化等への対応が課題となっております。

具体的な取組

（取組の対象者、参加者など）

- 高齢者福祉サービス、老人憩の家の利用者は一般高齢者。
- 養護老人ホームは養護が必要な高齢者。

（取組の内容）

- 在宅生活を続けるため、高齢者住宅改修事業、軽度生活支援事業、緊急通報装置・ふれあい安心電話事業、見守り対応機器購入等支援事業等の高齢者福祉サービスを実施します。
- 養護老人ホーム「松籟荘」、生活支援ハウスにより在宅生活が困難な高齢者に居住の場を提供しているほか、老人憩の家「白濤亭」、保坂福祉会館松寿園、高齢者友愛センター、高齢者ふれあい交流施設「ゆっちゃん」等福祉施設の充実を図ります。

目標（事業内容、指標等）

- 高齢者福祉サービス事業は各種事業を継続的に実施することを目標とします。
 - 福祉施設を適正に管理維持することを目標とします。
- いずれも必要なサービスが適正に高齢者に提供されるよう事業を推進します。

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ

● 評価の方法

施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など

- ①高齢者住宅改修助成事業、②軽度生活援助事業、③緊急通報装置・ふれあい安心電話事業、④訪問理容サービス事業、⑤高齢者外出支援サービス事業、⑥家族介護用品支給事業、⑦徘徊高齢者家族支援サービス事業、⑧食の自立支援事業（配食サービス）、⑨はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業、⑩元気・交流200円バス事業、⑪百歳長寿お祝い事業、⑫高齢者のみの世帯等の除雪・雪下ろし支援、⑬生活管理指導短期宿泊事

業、⑭高齢者緊急一時保護事業、⑮高齢者買い物優待事業、⑯見守り対応機器購入等支援事業、⑰その他の生活支援事業の実施・検討

以上の事業実施。

参加者への影響など

在宅生活や自立生活の支援につながる。

地域への影響など

特になし。

取組と目標に対する自己評価シート

(Ⅱ 自立生活の支援)

実績評価

実施内容

家族介護用品支給事業により、おむつ使用者を介護する家族に助成券を交付し、おむつ等の購入費の助成をしました。

養護老人ホーム「松籟荘」、生活支援ハウスにより在宅生活が困難な高齢者に居住の場を提供したほか、老人憩の家「白濤亭」、保坂福祉会館松寿園、高齢者友愛センター、高齢者ふれあい交流施設「ゆっちゃん」等福祉施設の開所により福祉向上に努めました。

自己評価結果

※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること

【○】

家族介護用品支給事業	令和3年度	令和4年度
交付者数	1,589人	1,640人
利用者数	1,508人	1,600人
利用枚数	13,020枚	13,114枚
給付額	44,111,197円	44,085,725円

※交付者数、利用者数、利用枚数は増加したものの、介護度が高い方の利用率の減に伴い給付額も減となりました。

福祉施設では、機能維持に必要な修繕を行いました。

課題と対応策

・自立支援、重度化防止事業の推進により、給付額の抑制を図る。

基準 おむつ使用者が市民税非課税

助成 1か月当たり 介護1～2 2,500円、介護3 5,000円、介護4～5 6,250円
(助成券は12枚つづり)

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅲ 介護予防等の推進
------	------------

現状と課題

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によれば、転倒に対する不安があるとの回答が半数以上を占めており、普段の生活の中での困りごと「長い距離を歩くこと」が最も多くなっています。

外出時の移動手段が自動車という方が多く、将来加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで、生じやすいフレイルの状態となる恐れが高いと推測されます。現在包括支援センターを中心に本人、家族からの相談や訪問活動等、様々な機会を通して、介護予防が必要な高齢者を把握し、介護予防や重度化防止に努めているところです。

自立度の高いうちから、日常生活でできるだけ徒歩による移動を心がけ、下肢筋力の保持に努めさせる必要があると考えられ、今後、庁内連携により医療・介護・保健等のデータを一体的に分析し介護予防教室等にもフレイル予防を目的とした事業を展開させる必要があると思われます。

また、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを行う必要もあります。

具体的な取組

- (取組の対象者、参加者など)
- ・ 要支援認定者・事業対象者、一般高齢者
- (取組の内容)
- ・ 高齢者通いの場補助事業（通所型サービスB）
 - ・ 通所型介護予防事業（通所型サービスC）
 - ・ 一般介護予防事業
 - ・ 高齢者の生きがいと健康づくり事業

目標（事業内容、指標等）

- 自立高齢者の割合の増加を目指します。
- （高齢者人口に対する自立高齢者率） R3年度 79.5%
- ・ 高齢者通いの場補助事業（通所型サービスB）参加者増
 - ・ 通所型介護予防事業（通所型サービスC）参加者増
 - ・ 一般介護予防事業参加者増
 - ・ 高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者増

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法

施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など

- ・各事業の利用者数
- ・通いの場の登録状況
- ・各課との連携状況

参加者への影響など

フレイル予防を進めることで、介護や介助を必要としない元気な高齢者が増える。

地域への影響など

元気な高齢者が増えることで、高齢者サービスや介護の担い手としても活躍できる介護の仕組みが構築される。

取組と目標に対する自己評価シート

（Ⅲ 介護予防等の推進）

実績評価

実施内容

- ・高齢者通いの場補助事業（通所型サービスB）
- ・通所型介護予防事業（通所型サービスC）
- ・一般介護予防事業

自己評価結果

※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること

【○】

コロナ禍ではあるが、感染対策をしつつ継続実施し、介護予防教室の開催回数・人数は増加となった。フレイル状態に近い人を対象にしたいと考え、通所Cの対象者の見直しを図ろうとしたが、講師の選定や移動手段的確保など課題があり、具体的な変更までには至らなかった。

実績 高齢者人口に対する自立高齢者率

	R 3	79.2%	→	R 4	79.5%
通所B	R 3	16回 登録者 6人	→	R 4	23回 登録者 16人
通所C	R 3	215回 2,063人	→	R 4	300回 2,301人（延）
一般介護	R 3	162回 1,927人	→	R 4	265回 3,026人（延）

課題と対応策

- ・保健事業と介護予防の一体実施で教室修了者に、包括支援センター主催の介護予防教室の周知に出向いたが、教室参加者の増加までには至らなかった。
- ・包括支援センターの事業だけでなく、一体実施で把握したフレイル状態の対象者も含め、自立した高齢者として、介護予防に自主的に取り組めるよう支援していく。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅳ 在宅介護サービスの基盤整備
------	-----------------

現状と課題

高齢者の増加とともに、要介護認定者の人口に占める割合が高くなっており、特に後期高齢者人口が増加し、長寿化とともに介護度の中重度化が進んでいます。介護度の中重度への移行を抑えることは、介護給付費の上昇の抑制にもつながります。

また、中重度になっても、住み慣れた自宅や、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅で生活できるような対応が必要になります。

具体的な取組

効果的な介護予防サービスが提供されるよう、地域包括支援センターにおいて適切な介護予防プランの作成に努めます。

効果的な介護予防ケアマネジメントの実行にあたっては、要支援者やその家族、サービス提供事業者と、自立支援の理念や介護予防の重要性を共有することが重要です。地域包括支援センターでは、様々な機会を捉え啓発・連携を図ります。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護の整備を進めます。

目標（事業内容、指標等）

介護サービス給付費見込額 ※給付費以外の費用除く

（令和3年度）	7,090,884,000円
（令和4年度）	6,915,824,000円
（令和5年度）	6,902,095,000円

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法

施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など

 - ・計画に記載している定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護の整備が進んでいるか。
 - ・計画における給付費の見込額に対する実績。

参加者への影響など

 - ・特になし

地域への影響など

 - ・特になし

取組と目標に対する自己評価シート
(Ⅳ 在宅介護サービスの基盤整備)
実績評価

実施内容
(令和4年度) 計 画 額 6,915,824,000 円 (給付費以外の費用除く) 決算見込額 6,887,429,522 円 (給付費以外の費用除く) 計画内の実績となる見込みである。
自己評価結果
※達成度の設定方法 (5段階評価、○・△・×など)は問わないが、評価の根拠を明確にすること
【4】 理由：計画内の実績となる見込みであるため。 令和3年度と比較すると、施設介護サービス給付費、高額介護サービス費が増加しているものの、居宅介護サービス給付費、地域密着型介護サービス等給付費、居宅介護等福祉用具購入費、居宅介護等住宅改修費などが減少しており、前年度より給付実績は減少となる見込みであることによる。
課題と対応策
介護給付費について、今後の動向を注視しながら、次期計画に反映させる必要がある。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	V 在宅介護サービスの質的向上
------	-----------------

現状と課題

高齢者の増加とともに、要介護認定者の人口に占める割合が高くなっています。今後、高齢者数は少しずつ減少していくと予測されますが、64歳以下の人口は高齢者よりも減少数が大きいと考えられ、高齢者サービスや介護を支える人材の不足が懸念されます。

福祉人材の育成や確保が今後も重要な課題の一つになると考えられます。

介護保険サービスの受給者数に大きな増減は見られず、今後も現在と同水準のサービス提供基盤を確保していくことが必要となります。

具体的な取組

- 介護従事者の人材確保および資質の向上
（研修に関する情報提供、研修会の実施、介護支援専門員との情報交換会等の開催、介護従事者の人材確保）
- 介護事業者の指導監督等
（情報収集等による実態の把握、地域密着型サービス事業所と居宅介護支援事業所の実地指導及び集団指導の実施、居宅サービス事業者への情報提供の充実）
- 介護保険制度の円滑な運用
（介護給付の適正化、低所得者への配慮、苦情処理体制の整備、情報提供の充実）
- 在宅ケアの取組
（医療・住まい等との連携、虐待・身体拘束の防止等）

目標（事業内容、指標等）

○要介護認定の適正化	
直営調査員の研修等の実施	月1回実施
委託調査の点検（書面）	全件数
委託調査の点検（訪問）	年間2施設（6施設中）
○要介護申請の適正化（サービス利用の無い更新対象者を減らす）	
更新案内時通知対象者の精査	全件数
○ケアプランの点検	
点検	年間20件以上
○住宅改修等の点検	
住宅改修の点検	年間10件以上
福祉用具購入・貸与に関する調査	年間10件以上
○介護給付費通知の送付	
通知	年2回

目標の評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>参加者への影響など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記目標に対する各年度の実績。 <p>地域への影響など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし

取組と目標に対する自己評価シート
（Ⅴ 在宅介護サービスの質的向上）
実績評価

実施内容		
適正化を図るため、計画的に事業を実施するよう努めた。		
○要介護認定の適正化		
	目 標	実 績
直営調査員の研修等の実施	月 1 回実施	月 1 回実施
委託調査の点検（書面）	全件数	2, 9 6 5 件
委託調査の点検（訪問）	年間 2 施設	年間 2 施設
○要介護認定申請の適正化（サービス利用の無い更新対象者を減らす）		
更新案内時通知対象者の精査	全件数	サービス未利用者宛通知 3 5 0 件
○ケアプラン点検の実施		
点検	年間 2 0 件以上	居宅介護支援事業所 2 0 件 小規模多機能型居宅介護、 認知症対応型共同生活介護 8 件
○住宅改修等の点検		
住宅改修の点検	年間 1 0 件以上	1 0 件
福祉用具購入・貸与に関する調査	年間 1 0 件以上	1 2 件
○介護給付費通知の送付		
通知	年 2 回送付	年 2 回送付（R4.6 月、12 月）
○縦覧点検・医療情報との突合については、国保連へ委託しており、不適切な請求がある場合、過誤調整を行うこととしており、国保連から提供されたデータにより、必要なケースは届出書の有無等を確認している。 有効認定期間の半数を超える短期入所者利用の届出書については、事前提出と催促後提出を合算すると 9 7. 3 % となっている。		
自己評価結果		
※達成度の設定方法（5 段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること		
【 4 】		
理由：各事業において、計画的に目標を達成しているため。		
課題と対応策		
今後も引き続き、目標達成に向けて取り組む。		

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	VI 施設介護サービスの基盤整備
------	------------------

現状と課題
<p>特別養護老人ホームのうち、能代山本広域市町村圏組合で運営している海潮園については、令和3年度末に廃止され、民間による新たな施設の整備が行われました。長寿園についても、令和9年度に廃止されることとなっております。</p>
具体的な取組
<p>本計画では他に新たな特別養護老人ホームの整備は見込まないこととしますが、長寿園の廃止が控えていることから、市全体の特養入所状況等を把握しながら、本計画期間内にて対応の方向性を決定します。そのため、①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、②在宅介護実態調査、③介護保険サービス事業所調査を実施します。なお、検討にあたっては、民間のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの整備等による高齢者の住環境や介護環境の変化も考慮します。</p>
目標（事業内容、指標等）
<p>○本計画期間内にて、令和9年度に廃止される特別養護老人ホーム長寿園の廃止に伴う対応の方向性を決定します。</p>
目標の評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市による調整、支援が適切であったか。 ・対応の方向性の決定ができているか。 <p>参加者への影響など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>地域への影響など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし

取組と目標に対する自己評価シート
(VI 施設介護サービスの基盤整備)
実績評価

実施内容

○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

対象者：令和4年12月1日現在で65歳以上かつ「要介護」と認定を受けていない市民
(4圏域(包括単位)、全体18,597名から無作為抽出した3,000名)

調査方法：郵送

調査期間：令和5年1月16日～1月31日

回収率：1,828人/3,000人(60.93%)

目的：要介護状態になるリスクの発生状況、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定する。

○在宅介護実態調査

対象者：在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている高齢者

調査方法：認定調査員による聞き取り等

調査期間：令和4年9月12日～令和5年2月28日

回答数：602人

目的：高齢者等の適切な在宅生活の継続と、家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスの在り方を検討する。

○介護保険サービス事業所調査

対象：市内居宅介護支援事業所(27事業所)、市内介護サービス事業所(111事業所)

調査方法：郵送、メール

調査期間：令和5年2月15日～3月7日

目的：市内の介護サービスの過不足状況、介護保険サービス事業所の現状を把握し、適切な介護サービスの在り方を検討する。

自己評価結果

※達成度の設定方法(5段階評価、○・△・×など)は問わないが、評価の根拠を明確にすること

【4】

理由：各種調査を実施したことによる。

課題と対応策

長寿園については、令和9年度に廃止される予定であることから、市全体の特養入所状況等を把握しながら、方向性を決定していく必要がある。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅶ 施設介護サービスの質的向上
------	-----------------

現状と課題

地域包括ケアシステムを支え、介護サービスを充実していくにあたり、介護従事者の確保が必要となります。

また、施設介護サービスの整備にあたっては、個室ユニットケアの推進が基本とされていますが、施設の個室ユニット化に伴う居住費等の増額により、低所得者の施設入所が困難になることにも配慮する必要があります。

具体的な取組

- 介護従事者の人材確保および資質の向上
(研修に関する情報提供、介護従事者の人材確保)
- 介護事業者の指導監督等
(情報収集等による実態の把握、地域密着型サービス事業所と居宅介護支援事業所の実地指導及び集団指導の実施、事業者への情報提供の充実)
- 介護保険制度の円滑な運用
(介護給付の適正化、低所得者への配慮、苦情処理体制の整備、情報提供の充実)
- 在宅ケアの取組
(低所得者への配慮と従来型多床室でのケアの充実、虐待・身体拘束の防止等)

目標（事業内容、指標等）

- 上記取組の実施（指標等の設定はありません）

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法

施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など

 - ・取組の実施状況により評価します。

参加者への影響など

 - ・特になし

地域への影響など

 - ・特になし

取組と目標に対する自己評価シート
(Ⅶ 施設介護サービスの質的向上)
実績評価

実施内容
<p>研修に関する情報提供を随時行ったほか、地域密着型サービス事業所の職員と居宅介護支援事業所の介護支援専門員については、計画的に研修を開催した。また、介護保険制度改正に伴い、集団指導時に説明し、市のHPの更新を随時行った。</p> <p>地域密着型サービス事業所と居宅介護支援事業所の実地指導及び集団指導を計画的に実施したほか、地域密着型サービスに関わらず、事故報告で問題があると判断された施設についても、訪問のうえ、事実確認と必要な指導を行った。</p> <p>運営推進会議への職員の派遣により、施設の実態把握に努めた。</p>
自己評価結果
※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること
<p>【△】</p> <p>理由：計画の人材確保に関して「県が策定する介護保険事業計画と連携を図る」ことを取組として掲げているが、具体的な事業の展開には至っていない。</p>
課題と対応策
人材確保について、県や商工労働課と連携しながら取組を検討し、対応する必要がある。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅷ 地域包括ケアシステムの強化
現状と課題	
<p>包括支援センターで対応している相談内容は複雑多岐にわたり、各種機関と連携が必要となる複雑な案件や、高齢者権利擁護に関わる案件など、困難事例も増加しており、高齢者のみならず、障がい、ひきこもり、貧困といった複合的な課題の相談に応じる重層的な支援体制の整備について検討が必要です。</p> <p>また、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを進めるため、地域ケア会議の開催をしています。より多くのケアマネジャーの自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めていただけるよう周知を図っていきます。</p> <p>さらに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、包括支援センターだけでは把握しきれない、細かな地域課題の把握に努めており、生活支援コーディネーターが、解決のための方策を探ります。</p> <p>医療・介護連携では、能代山本共通の情報共有ツールである、「入院時情報提供書」を作成し、患者支援の情報共有がスムーズになる一助となっています。</p> <p>今後、退院後の在宅支援がより一層円滑に進むことで、住み慣れた地域で生活し続けることができる体制構築を推進する必要があります。</p> <p>また、人生最後を迎える時に、医療や介護について、自分らしい人生を全うするためには、自身はどうしたいのか、日頃から家族など大切な人と共有する取り組み（ACP：人生会議）の考えを、市民に周知していく必要があります。</p>	
具体的な取組	
<p>（取組の対象者、参加者など） 要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者、一般市民</p> <p>（取組の内容）</p> <ul style="list-style-type: none">・総合相談支援事業・権利擁護事業・地域ケア会議の推進・在宅療養を支援する体制の充実・生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進	
目標（事業内容、指標等）	
<ul style="list-style-type: none">・総合相談事業の実績増加・地域ケア会議を開催し、各個別ケースの課題分析等を積み重ねる。・成年後見制度の広報周知・地域ケア会議の開催回数増加・介護と医療機関との退院システムの検討・生活支援体制整備事業におけるニーズの検討・在宅医療・介護連携支援センターの相談件数	

目標の評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など 各事業の開催回数や、事業の進捗状況 各関係機関のアンケート</p> <p>参加者への影響など 関係機関・団体・市民が地域包括ケアシステムの考え方を理解し、それぞれの役割を担うことにより、地域の高齢者を支援していくことができるよう、意識の醸成が図られる。また、地域包括支援センターを中心に、連携を強化していくことができる。</p> <p>地域への影響など 入退院連携が円滑に進むことにより、質の高い医療・ケアを受けることができる。住民同士の助け合いが進み、安心・快適な日常生活が実現できる。</p>

取組と目標に対する自己評価シート
 (Ⅷ 地域包括ケアシステムの強化)
 実績評価

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談支援事業 ・ 権利擁護事業 ・ 地域ケア会議の推進 ・ 在宅療養を支援する体制の充実 ・ 生活支援・介護予防サービスの基礎整備の推進
自己評価結果
<p>※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること</p> <p>【○】 困難事例等の対応は包括支援センターを中心に関係機関と連携を取りつつ対応できている。また、社会福祉協議会の権利擁護センターへ中核機関を委託しており、成年後見制度の周知を含め、各事業とも概ね順調に推移している。</p> <p>実績：包括支援センター権利擁護相談件数 R 3 696件 → R 4 717件（延べ） 中核機関 “ R 3 1,438件 → R 4 1,866件（延べ）</p>
課題と対応策
<p>相談内容が複雑多様化し、困難事例が増加。関係機関と連携する必要性も増加している。問題解決のため、関係各課・機関と連携協力を図ると共に、困難事例に対応する関係機関のネットワークを強化し対応している。</p> <p>また、社会福祉協議会の権利擁護センターへ中核機関の設置を委託しており、市民や関係機関へ後見制度への理解と周知に重点を置いた活動を展開している。</p> <p>現在包括支援センターで開催されている地域ケア個別会議は随時開催であるが、自立支援に向けた地域ケア個別会議を定例開催とすることで、専門職からの支援を受けやすくなるメリットがあることから、今後定例開催も予定している。</p> <p>また、地域ケア会議で出された地域課題に対し、社協・包括支援センターで検討した。</p>

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅸ 認知症施策の推進
現状と課題	
<p>日常生活圏域ニーズ調査結果によれば、認知症に関する相談窓口について、6割の方が知らないと回答しています。また、在宅介護実態調査では、今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護は「認知症状への対応」と答えています。</p> <p>また、高齢者の4人に1人が認知症またはその予備軍とされており、高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加する見込みです。介護者の中には、認知症に対する不安も大きく、引き続き認知症対策の充実を図るとともに、認知症の人の視点に立ち当事者や家族の意見を踏まえて推進すること基本とし、認知症高齢者を取りまく全ての人が理解を深め、認知症の人の尊厳が保たれるような活動の推進が必要と考えます。</p>	
具体的な取組	
<p>（取組の対象者、参加者など） 認知症当事者及び家族、市民</p> <p>（取組の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座・キッズサポーター養成講座 ・ 認知症サポーターステップアップ講座 ・ 認知症家族会 ・ 認知症カフェ ・ チームオレンジの立ち上げ ・ 認知症初期集中支援チームの活動 ・ 認知症地域支援推進員による相談等支援体制の推進 	
目標（事業内容、指標等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座・キッズサポーター養成講座参加者増 ・ 認知症サポーターステップアップ講座開催及チームオレンジへの誘引 ・ 認知症家族会参加者増 ・ 認知症カフェ参加者増 ・ チームオレンジの立ち上げ ・ 認知症初期集中支援チーム支援者増 ・ 認知症地域支援推進員による相談等支援体制の推進 	

目標の評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業の参加者数 ・各種事業での参加者アンケート ・「認知症サポーターステップアップ講座」の開催 ・「本人ミーティング」の開催 ・「チームオレンジ」の立ち上げと支援 <p>参加者への影響など</p> <p>認知症への理解が深まり、認知症の人々が暮らしやすい街づくりに向けて、活動を推進する最大の理解者となる。</p> <p>地域への影響など</p> <p>認知症に対しての偏見がなくなり、認知症の人が暮らしやすい街になる。</p>

取組と目標に対する自己評価シート
(IX 認知症施策の推進)
実績評価

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター、キッズサポーター養成講座 ・ステップアップ講座 ・認知症家族会 ・認知症カフェ ・チームオレンジによる支援 ・認知症初期集中支援チーム支援 ・認知症地域支援推進員による相談体制の推進
自己評価結果
<p>※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること</p> <p>【○】</p> <p>コロナ禍ではあったが感染対策に努め、予定の事業は概ね順調に実施できている。</p> <p>実績：認知症サポーター養成講座 R 3 29回 267人 → R 4 21回 280人（延）</p> <p>認知症ステップアップ講座 R 3 1回 13人 → R 4 1回 17人（延）</p> <p>認知症ほっとカフェ R 3 5回 78人 → R 4 12回 166人（延）</p> <p>認知症家族会 R 3 9回 44人 → R 4 12回 71人（延）</p>
課題と対応策
<p>認知症初期集中支援チームの支援や、ケアパスを使用した相談など、様々な認知症施策を展開している。中でも認知症本人と家族の身近な生活支援のニーズと支援者をつなぐ仕組みとして、令和4年度からキャラバンメイト協議会が中心となり「チームオレンジ」として立ち上げ活動している。今後、新たなチームオレンジを立ち上げ、気軽に集える場を増やすため、サポーター養成講座修了者の既存団体へ打診予定としている。</p>

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	X 災害や感染症対策に係る体制整備
-------------	--------------------------

現状と課題

防災については、高齢者、子ども、乳幼児、妊産婦、障がい者（児）等の要配慮者や避難行動要支援者の安全の確保について、地域住民、自主防災組織及び福祉ボランティア団体等の協力のもとに、要配慮者や避難行動要支援者の平常時における実態を把握し、災害時における情報の収集伝達及び避難誘導等、支援体制の確立に向けて取り組んでいます。が、避難行動要支援者の個別避難計画の策定や情報共有の取り扱いが課題であります。

具体的な取組

（取組の対象者、参加者など）

自主防災組織、要配慮者、避難行動要支援者、施設管理者・入所者

（取組の内容）

市の防災危機管理室と連携を図ります。

災害発生時において、避難行動要支援者等の適切な避難支援や安否確認等を行うため、個人情報に留意しながら対象者の把握と関係者との情報共有に努め、災害発生における安否確認や避難支援体制の構築、避難後の生活への配慮等、要配慮者や避難行動要支援者に配慮した防災対策を推進します。

介護施設においては、避難訓練等の実施、指導を行うこととします。

感染症予防については、手洗い、うがい、マスク等の基本的な感染対策を徹底します。また、国や県と連携を図り必要に応じて適切な対応を講じることとします。

目標（事業内容、指標等）

- 能代市地域防災計画の改正に伴い、能代市災害時要援護者避難支援プラン全体計画を改定します。
- 個別避難計画の在り方を検討します（令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について、個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされ、概ね5年程度で策定することとされている）。
- 介護施設における防災、感染予防対策の指導を行います。

目標の評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など</p> <p>平時の防災訓練や施設の防災指導が必要であり、市民や関係団体と連携を図り、実効性のある災害や感染症対策に係る体制整備。</p> <p>参加者への影響など</p> <p>平時から災害時への備えが必要である。</p> <p>地域への影響など</p> <p>災害時、地域における共助が重要な役割を果たすことから、個別避難計画を通じ、地域と情報の共有することが求められる、地域に協力をお願いしながら個別避難計画の策定を行う。</p>

取組と目標に対する自己評価シート
(X 災害や感染症対策に係る体制整備)
実績評価

実施内容
<p>市の防災危機管理室等の関係部署、関係機関・団体等と連携を図りながら、要配慮者や避難行動要支援者の平常時における実態を把握し、災害時における情報の収集伝達及び避難誘導等、支援体制の確立に向けて取り組みました。</p> <p>また、感染症対策に対する備えとして、関係部署と連携しながら予防接種費用の助成により接種率の向上につなげ、発症の予防と症状の軽減化を図りました。</p>
自己評価結果
<p>※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること</p> <p>【△】</p> <p>民生委員等の高齢者実態調査により個別避難計画の対象者の把握を行っていますが、要援護者協定を締結しているのは、7自治会のみとなっています。</p>
課題と対応策
<p>避難行動要支援者の個別避難計画の策定や情報共有の取り扱いが課題であることから、他自治体の事例を参考しながら、関係部署や関係機関・団体等との連携、重層的体制整備事業との調整を図ります。</p>

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	XI 高齢者の住まいの安定的な確保
------	-------------------

現状と課題

高齢者の住環境について、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増加する中、地域生活の基盤である高齢者の住まいの確保が重要となっていることから、高齢者が安心して暮らせるよう高齢者向けの住宅の情報提供や自宅の改修費用の助成等に努める必要があります。

具体的な取組

（取組の対象者、参加者など）

県、事業者、要介護者等

（取組の内容）

市内には、民間事業者により、軽費老人ホーム（ケアハウス）、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅が整備されており、これらの整備の動向等を把握し、市ホームページ等により情報提供に努めます。

また、在宅の要介護者・要支援者について、自宅で生活を続けられるよう、介護保険制度の住宅改修のほか、これに上乗せする市の高齢者住宅改修助成事業で住宅改修費を助成します。

目標（事業内容、指標等）

随時、対応する。

目標の評価方法

● 時点

中間見直しあり

実績評価のみ

● 評価の方法

施策の展開状況（整備状況、利用状況、運営状況）など

随時、対応する。

参加者への影響など

高齢者の住まいの安定的な確保により、安心した暮らしが維持できる。

地域への影響など

特になし

取組と目標に対する自己評価シート
 (XI 高齢者の住まいの安定的な確保)
 実績評価

実施内容		
<p>市内には、民間事業者により、軽費老人ホーム（ケアハウス）、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅が整備されており、これらの整備の動向等を把握し、市ホームページ等により情報提供に努めました。</p> <p>また、在宅の要介護者・要支援者について、自宅で生活を続けられるよう、介護保険制度の住宅改修のほか、これに上乗せする市の高齢者住宅改修助成事業により住宅改修費を助成しました。</p>		
自己評価結果		
<p>※達成度の設定方法（5段階評価、○・△・×など）は問わないが、評価の根拠を明確にすること</p>		
<p>【○】</p> <p>県の有料老人ホーム等に係る情報との連携に努め、市ホームページ等により適切に情報提供しました。</p> <p>また、介護保険制度や市の高齢者住宅改修助成事業により住宅改修資金を助成しました。</p>		
	令和3年度	令和4年度
住宅改修（介護保険制度）	11,678,777円（148件）	10,240,751円（145件）
住宅改修助成（市制度）	477,000円（5件）	646,000円（9件）
課題と対応策		
<p>高齢者の住環境について、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増加する中、地域生活の基盤である高齢者の住まいの確保が重要となっていることから、高齢者が安心して暮らせるよう、引き続き高齢者向けの住宅の情報提供や自宅の改修費用の助成等に努めます。</p>		

施策Ⅰ 高齢者の積極的な社会参加

(1) 生きがいきづくり活動等の支援の充実

①老人クラブ社会活動促進事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
クラブ数	48クラブ	44クラブ	40クラブ
加入者数	1,614人	1,398人	1,175人

②敬老会 ※敬老の日開催

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者	開催しなかった	開催しなかった	開催しなかった

※令和5年度から市主催を廃止し、地区主催の敬老行事への助成事業へ移行。

③福祉基金事業（のしろであいのコンサート事業、地域高齢者お楽しみ会事業等）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交付団体数	3団体	4団体	7団体
交付済額	143千円	729千円	1,870千円

(2) 生涯学習の充実

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
○保坂福祉学園	100回	1,383人	84回	1,147人	191回	2,527人
☆松寿大学	0回	0人	0回	0人	3回	98人
○社会参加活動講演会	2回	116人	0回	0人	1回	140人
○健康づくりスポーツ大会	0回	0人	0回	0人	0回	0人
○高齢者芸能発表の集い	1回	36人	0回	0人	0回	0人
☆いきいきふれ愛の集い	0回	0人	0回	0人	0回	0人
計	103回	1,535人	84回	1,147人	195回	2,765人

※○能代地域、☆二ツ井地域

(3) 高齢者就業の支援

シルバー人材センターの登録状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録会員数	315人	303人	321人
男性	253人	243人	253人
女性	62人	60人	68人
助成額	8,000千円	8,000千円	8,000千円

※情報出典：商工労働課

施策Ⅱ 自立生活の支援

(1) 在宅生活を続けるための支援の充実等

① 高齢者住宅改修助成事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	5件	5件	9件
助成額	333千円	477千円	646千円

② 軽度生活援助事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交付世帯数	1,881世帯	1,962世帯	1,959世帯
利用数(枚数)	10,939枚	12,191枚	10,832枚

③ 緊急通報装置・ふれあい安心電話事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数 (設置台数)	318人	273人	241人
非常、相談件数	14件、377件	9件、333件	10件、409件
ふれあいコール数	11,854件	10,896件	9,957件

④ 訪問理容サービス事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	47人	44人	42人
利用数(枚数)	125枚	129枚	117枚

⑤ 高齢者外出支援サービス事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用者数	451人	335人	354人

⑥家族介護用品支給事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	1,466人	1,508人	1,600人
利用数(枚数)	12,775枚	13,020枚	13,114枚

⑦食の自立支援事業(配食サービス)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用実人数	153人	138人	136人
延べ配食数	15,862食	15,384食	14,652食

⑧はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	130人	125人	136人
利用枚数	883枚	848枚	864枚

⑨元気・交流200円バス事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
交付者数	5,035人	4,773人	4,692人

⑩百歳長寿お祝い事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業対象者数	23人	19人	29人

⑪高齢者のみの世帯等の雪下ろし支援

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
助成件数	8件	86件	5件

⑫生活管理指導短期宿泊事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用人数	1人	0人	0人
利用延べ日数	7日	0日	0日

⑬高齢者緊急一時保護事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用人数	0人	2人	8人

⑭高齢者買い物優待事業

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
協賛店舗数	28店舗	28店舗	42店舗

(2) 福祉施設等の整備の推進等

①養護老人ホーム（措置人員の状況）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
松籟荘	70人	69人	70人
能代市	67人	67人	68人
市外	3人	3人	2人
松峰園（秋田市）	1人	1人	1人
樹園（男鹿市）	1人	1人	0人
やまもと（三種町）	1人	1人	1人
聖ヨゼフホーム （奈良県御所市）	1人	1人	1人
津軽ひかり荘 （青森県弘前市）	0人	0人	0人

②老人憩の家（白濤亭）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用者数	12,508人	12,432人	11,940人
1日平均の利用者数	44.5人	41.4人	39.9人

③保坂福祉会館松寿園

■松寿園の利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用者数	6,920人	5,477人	7,439人
1日平均の利用者数	23.5人	17.8人	24.2人

④能代ふれあいプラザ（サンピノ）及び高齢者友愛センター

■能代ふれあいプラザ（集会交流室）の利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	3,463人	3,916人	4,413人

■高齢者友愛センターの利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	6,723人	6,345人	7,506人

⑤高齢者ふれあい交流施設（ゆっちゃん）（二ツ井）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	52,853人	55,220人	52,346人

⑥生活支援ハウス（二ツ井）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実人数	8人	9人	7人
延べ人数	86人	73人	60人

⑦高齢者の住環境

■軽費老人ホームの整備状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開設施設数（累計）	1施設	1施設	1施設
定員数（累計）	15人	15人	15人

■有料老人ホームの整備状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開設施設数（累計）	12施設	12施設	12施設
定員数（累計）	215人	215人	215人

■サービス付き高齢者向け住宅の整備状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開設施設数（累計）	11施設	11施設	11施設
戸数（累計）	250戸	250戸	250戸

※各事業とも年度末時点の実績

(2) 令和4年度能代市地域包括支援センター事業実績の報告

令和4年度能代市地域包括支援センター事業実績

場所：市内4カ所（本庁・北・南・二ツ井）

開館：月～土（日・祝・年末年始除く） ※時間外・夜間は電話転送対応

時間：午前8時30分～午後5時15分

①総合相談支援事業

●相談方法（のべ件数）

	R2年度	R3年度	R4年度
電話	7,684	9,145	10,232
来所	719	784	1,134
訪問	2,529	3,073	3,343
合計	10,932	13,002	14,709

●主な相談内容（のべ件数）

項目	R2年度	R3年度	R4年度
介護相談	5,532	6,017	7,050
施設相談	590	949	1,653
医療・健康	1,390	2,008	1,833
高齢者福祉	867	882	819
情報収集・提供	4,582	4,939	5,165
身体障がい関係	26	99	197
虐待関係	67	28	147
権利擁護関係	760	696	717
認知症関連	—	—	2,011
その他	653	2,394	1,237
合計	14,467	18,012	20,829

②権利擁護事業

●主な相談内容（のべ件数）※再掲

項目	R2年度	R3年度	R4年度
虐待関係	67	28	147
権利擁護関係	760	696	717
合計	827	724	864

●虐待に関する相談（実人員）

※包括支援センター及び長寿いきがい課

項目	R2年度	R3年度	R4年度
「虐待の疑い」通報件数	7	9	15
「虐待」認定件数	1	2	5

③包括的・継続的マネジメント事業（ケアマネジャー支援及び地域連携）

項目	R2年度	R3年度	R4年度
ケアプランチェック(件数)	855	834	852
ケアマネ研修会(回数)		4	4
同(参加人数)		326	304

※R3研修会はハイブリッド式で開催のため、参加人数とオンライン参加人数の合計となっています。

④介護予防サービス計画作成（対象：要支援）

	R2年度	R3年度	R4年度
件数	2,633	2,882	3,216
うち包括	681	745	968
うち委託	1,952	2,137	2,248

⑤介護予防ケアマネジメント事業（対象：総合事業サービス利用者）

	R2年度	R3年度	R4年度
件数	4,679	4,625	4,362
うち包括	1,938	1,992	2,010
うち委託	2,741	2,633	2,352

⑥介護予防教室事業

一般教室(出前講座含)	R2年度	R3年度	R4年度
回数	164	162	265
のべ参加者	1,603	1,927	3,026

通所型C(複合プログラム)	R2年度	R3年度	R4年度
回数	83	119	129
のべ参加者	604	820	810

通所型C□(運動器)	R2年度	R3年度	R4年度
回数	91	96	171
のべ参加者	1,095	1,243	1,491

※公募事業者に委託して実施

⑦家族介護支援事業

※上段：回数 下段：のべ参加者数

	R2年度	R3年度	R4年度
介護講座、実技、 情報交換等	14 27	19 109	24 114
交流会、レク、 お楽しみ会等	2 28	9 36	12 27

⑧学生実習受け入れ

※包括支援センター受入分のみ記載

	R2年度	R3年度	R4年度
のべ日数	32	9	31
実人数	58	22	15

⑨地域ケア個別会議

【主催】地域包括支援センター

【目的】地域の多様な関係者が協働し、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、介護等が必要な高齢者の住み慣れた地域での生活を地域全体で支援していく。また、地域ケア会議は個別ケースを検討する会議から地域課題の解決を検討する場まで一体的に取り組んでいく。

【参加対象】医療・介護等の専門職、民生委員、自治会長、NPO法人、社会福祉法人、ボランティア等地域の多様な関係者

	R2年度	R3年度	R4年度
回数	21	17	16

○地域支援事業

【在宅医療・介護連携推進事業】

※長寿いきがい課担当分

2025年を目処に、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援を行う。

○現状分析・課題抽出・施策立案

	事業内容	R3年度	R4年度
ア	地域の医療・介護の資源の把握	・相談窓口一覧作成と関係機関への配布	・相談窓口一覧作成と関係機関への配布（一般向）
イ	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・ワーキンググループ開催（1回） ※他に紙面開催で実施	・ワーキンググループ開催（1回）
ウ	切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・5病院医療連携室相談会議「介護申請について」 ・能代山本医療・介護・福祉連携促進協議会開催（書面開催）	・5病院医療連携室相談会議「コロナ禍における病院の現状と課題について」 ・能代山本医療・介護・福祉連携促進協議会開催 ・医師会理事会 包括支援センターの紹介及び、主治医意見書を中心とした介護認定の流れ

○対応策の実施

	事業内容	R3年度	R4年度
オ	在宅医療・介護連携に関する相談支援	・医療・介護連携支援センター設置及び介護支援専門員研修会での周知【相談実績：10件】	・医療・介護連携支援センターのHPによる周知【相談実績：15件】
キ	地域住民への普及啓発	自治会、自主学習グループ等へ出前講座の実施（高齢者福祉、介護予防等）	自治会、自主学習グループ等へ出前講座の実施（ACP、高齢者福祉、介護予防等）
エ	医療・介護関係者の情報共有の支援	・入院時情報提供書の活用（通年）	・入院時情報提供書の活用（通年）
カ	医療・介護関係者の研修	・多職種による事例検討会（ケア・メイト）の支援（3回） ・医療・介護従事者向け研修会参加	・多職種による事例検討会（ケア・メイト）の支援（2回） ・医療・介護従事者向け研修会（1市3町、医師会と共催）

○都道府県主体の役割

	事業内容	R3年度	R4年度
ク	関係市区町村との連携	・能代山本医療・介護・福祉連携促進協議会（紙面開催）	・能代山本医療・介護・福祉連携促進協議会

【認知症施策の推進】

※長寿いきがい課担当分

(ア) 認知症初期集中支援推進事業

○認知症初期集中支援チームの設置

認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

	R2年度	R3年度	R4年度
チーム新規対象者	11人	15人	16人
チーム員会議	12回	12回	12回
検討委員会	1回	1回	1回

(イ) 認知症に関する正しい知識の普及啓発

○認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者（認知症サポーター）の養成を進め、地域や職域など様々な場面で活躍できるような取り組みを推進する。

	R2年度	R3年度	R4年度	
開催回数	19回	29回	21回	※定期講座(奇数月)ほか出前講座で実施
サポーター数	427人	267人	280人	※H21年～実施：累計409回、8,088人

(ウ) 認知症高齢者と家族を支える見守り支援体制の整備

○認知症カフェの開催

認知症の方を支える取り組みやつながりを支援し、認知症の方の家族の負担軽減を図るため、認知症の方とその家族、地域住民、専門職が集う「認知症カフェ」を開催する。

	R2年度	R3年度	R4年度	
開催回数	8回	5回	12回	※毎月開催(新型コロナ感染予防のため中止あり)
参加者数	104人	78人	166人	

○認知症家族会の開催

在宅で認知症の方を介護している家族が、介護者同士の交流を通じてお互いの悩みや不安を分かち合い、また、正しい認知症ケアを理解することで、認知症介護の負担感を軽減することを目的とする。

	R2年度	R3年度	R4年度	
開催回数	8回	9回	12回	※毎月開催(新型コロナ感染予防のため中止あり)
参加者数	40人	44人	71人	

○認知症高齢者等見守りシール事業

認知症の高齢者らの行方がわからなくなった際、早期発見、保護につなげる見守りの仕組み。QRコードを印刷したシールと、発見者と行方不明者の家族らが、24時間連絡を取り合える専用伝言板を活用したシステム。

	R4年度	
登録人数	14人	※R4年7月から実施
利用件数	1回	

【生活支援体制整備事業】 ※長寿いきがい課担当分

高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援する。

	R3年度	R4年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 各圏域の生活支援ニーズや地域資源等に関する調査と、通いの場の立ち上げ支援を行った(委託先：能代市社協) 第1層協議会を開催した(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体を訪問し、引き続き、各圏域の生活支援ニーズや地域資源等に関する調査と通いの場の立ち上げ支援を行った。また、支えあいの地域づくりに関する周知及び意識啓発も行った。(委託先：能代市社協) 第1層協議会を開催した(1回)

【成年後見制度利用促進事業】

●成年後見制度

※長寿いきがい課担当分

項目	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	6	7	12
市長申立件数	2	1	1
後見人等報酬助成件数	2	5	4

●中核機関運營業務委託（社協）

項目	R3年度	R4年度
総合相談のべ件数	1,438	1,866
総合相談実人数	724	958
新規権利擁護相談実人数	176	240

※R2年度はニーズ調査を実施□

R3年4月から中核機関として委託業務開始

(3) 各種調査の結果概要の報告

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果概要

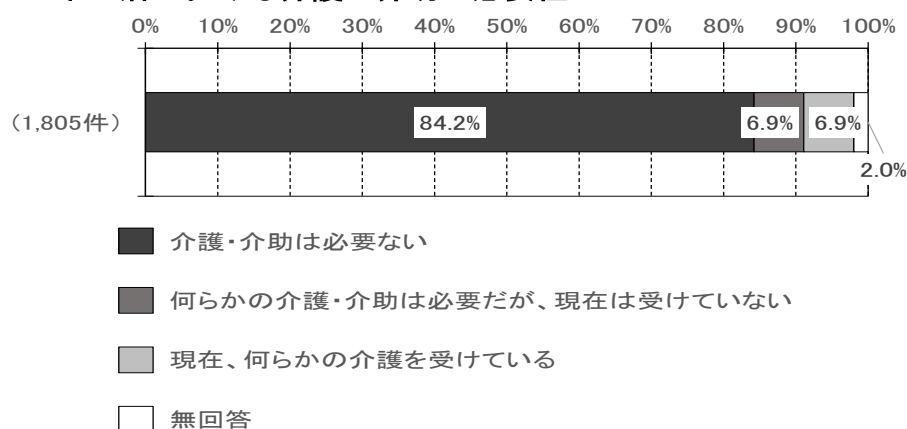
調査期間：令和5年1月

調査対象：一般高齢者（65歳以上）及び在宅の要支援者 3,000件

調査結果：有効回収数 1,805件

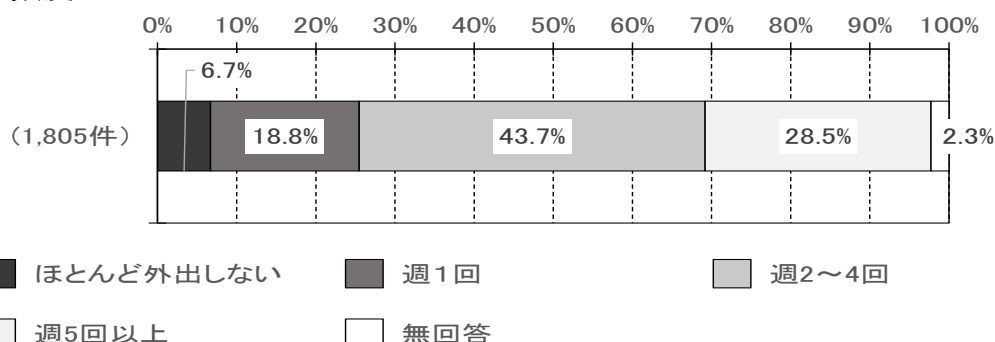
調査目的：要介護状態になる前の高齢者のリスク等を把握し、地域の課題を特定する。
介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用する。

1. 日常生活における介護・介助の必要性



普段の生活における介護・介助の必要性は、84.2%が「介護・介助は必要ない」としていますが、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」はともに6.9%となっており、**介護保険制度について、必要な人に、必要な介護サービスを提供できるよう、地域包括支援センターや社協等と連携しながら、引き続き制度の周知に努めていく必要があります。**

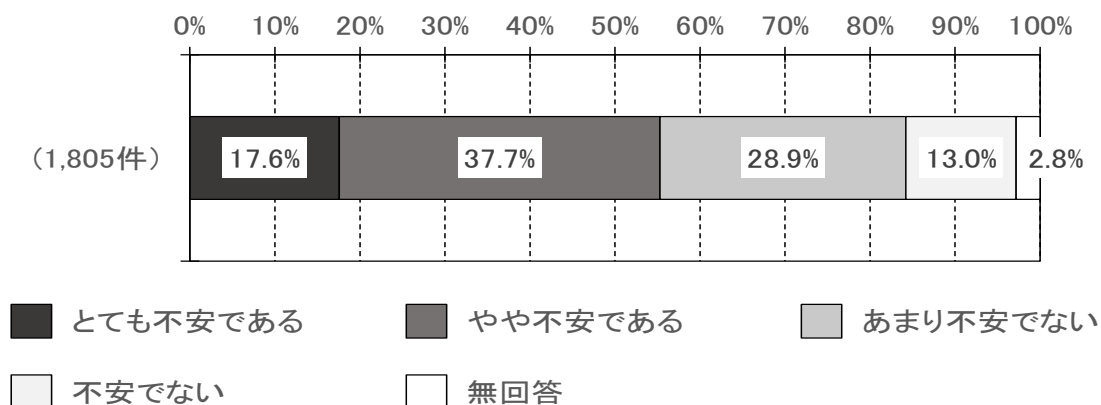
2. 外出頻度



外出頻度をみると、「週に2～4回」が43.7%でもっとも多く、ついで「週5回以上」が28.5%となっています。一方、「週1回」が18.8%、「ほとんど外出しない」は6.7%となっています。「ほとんど外出しない」はもっとも低い回答ですが、**高齢者の引きこもり防止の観点から、この比率を低下させることが必要であるとともに、高齢者の外出機会の創出や見守り、安否確認の体制を強化する必要があります。**

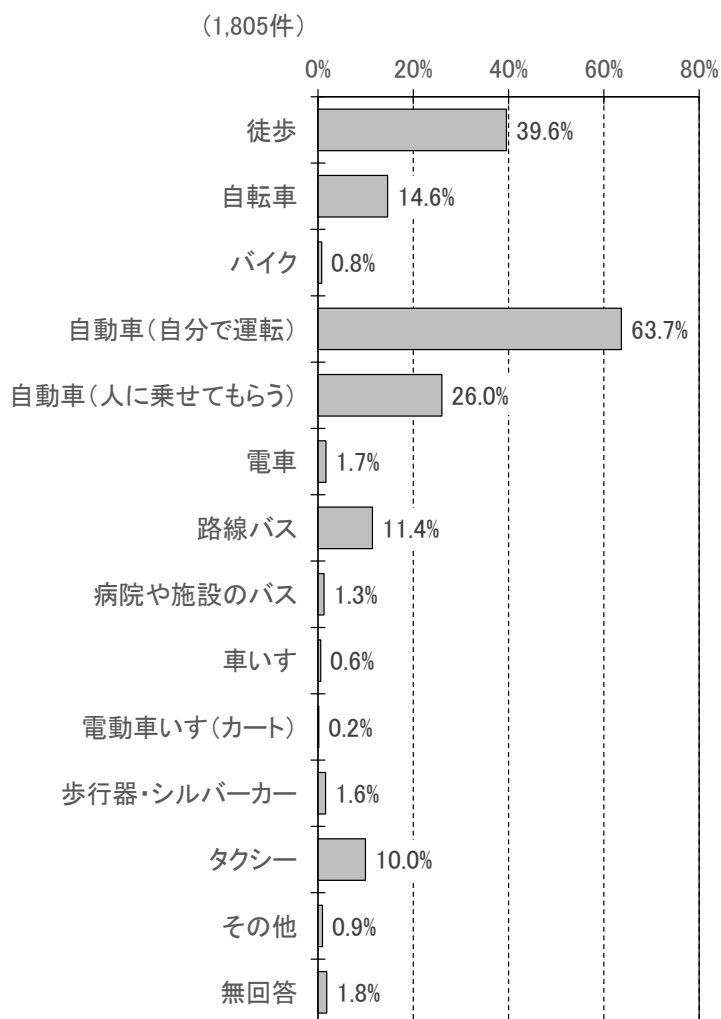
3. 運動器の機能低下とその対応について

(1) 転倒に対する不安感



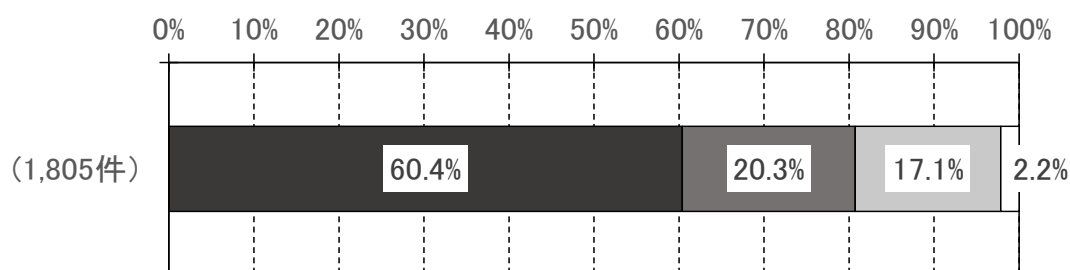
転倒に対する不安が大きいかでは、「とても不安である」が17.6%、「やや不安である」が37.7%で、不安であるという回答をあわせて55.3%と半数を占めています。

(2) 外出時の移動手段



「自動車(自分で運転)」が63.7%で突出して多く、ついで「徒歩」が39.6%、「自動車(人に乗せてもらう)」が26.0%となっています。

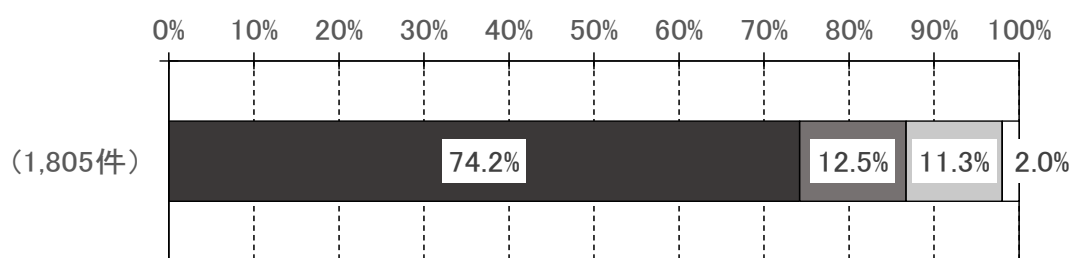
(3) 階段の昇り方



■ できるし、している ■ できるけどしていない ■ できない □ 無回答

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかでは、「できるし、している」(60.4%)と「できるけどしていない」(20.3%)をあわせた、できるという回答が80.7%、「できない」が17.1%となっています。

(4) 椅子からの立ち上がり方



■ できるし、している ■ できるけどしていない ■ できない □ 無回答

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、「できるし、している」(74.2%)と「できるけどしていない」(12.5%)をあわせた、できるという回答が86.7%、「できない」が11.3%となっています。

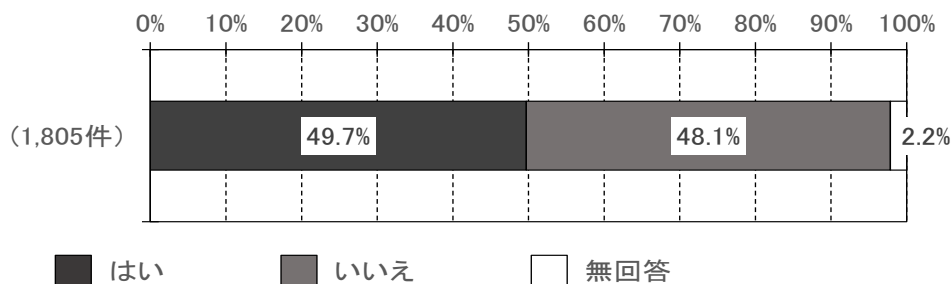
運動に関する調査(階段の昇降、椅子からの立ち上がり等)結果は概ね問題無いものとなっていますが、外出時の移動手段が自動車による方が多いことから、将来、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすいフレイルの状態となる恐れが高いと推測されます。

また、転倒に対する不安があるとの回答が半数以上となっていることから、自立度の高いうちから、日常の生活で、できるだけ徒歩による移動を心がけ、下肢筋力の保持に努めさせる必要があると考えます。

地域包括支援センターが行う介護予防教室や保険事業と介護予防の一体実施事業と連携しながらフレイル予防の取り組みを進めていきます。

4. 認知機能の低下とその対応について

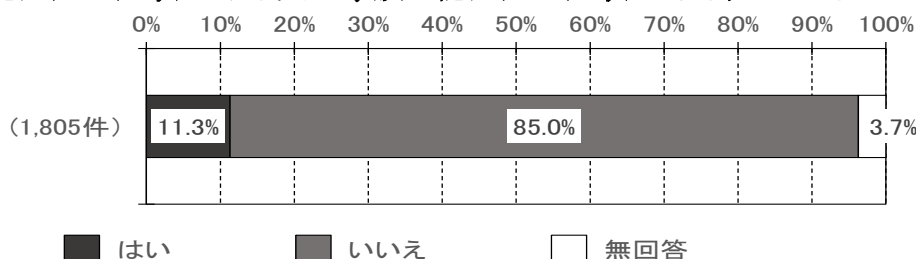
(1) もの忘れが多いと感じるか



もの忘れが多いと感じるかでは、「はい」が49.7%、「いいえ」が48.1%となっています。

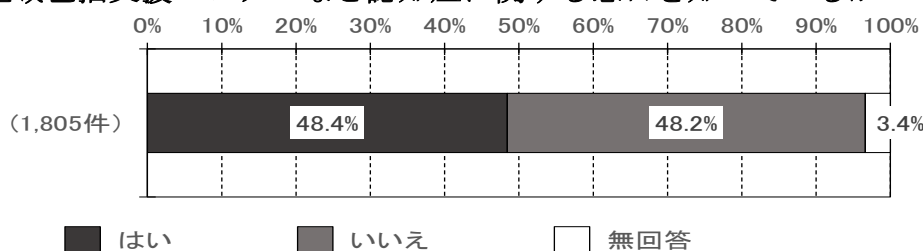
もの忘れが多いと感じる（「はい」）という回答について属性別にみると、男性よりも「女性」の方がやや割合が高く、「75歳以上（後期高齢者）」の方がもの忘れが多いと感じる人の占める割合が高くなっています。

(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「はい」は11.3%、「いいえ」が85.0%となっています。

(3) 地域包括支援センターなど認知症に関する窓口を知っているか

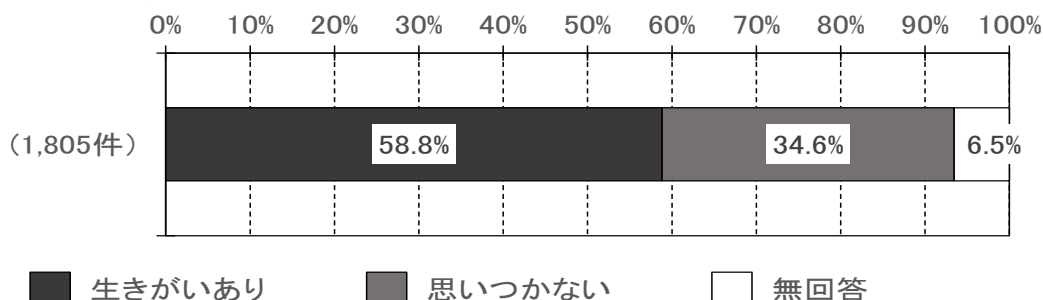


認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「はい」が48.4%、「いいえ」が48.2%となっています。

高齢者の約4人に1人が認知症の人又はその予備軍とされており、高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加する見込みです。

認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人が認知症とともによりよく生きていくことができるような環境整備が必要なため、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として認知症施策推進大綱の施策を推進します。

5. 生きがいの有無



生きがいの有無をみると、「生きがいあり」が58.8%、「思いつかない」が34.6%となっています。

生きがいの内容について、半数以上の方が生きがいを持っているとしており、そのうち家族（孫、子、配偶者）とする方が最も多く、趣味や仕事（農作業を含む）、園芸などがあげられます。

6. 社会参加の状況

	n	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	100.0% 1,805件	0.2% 4件	0.4% 8件	0.5% 9件	2.5% 46件	6.6% 119件	58.5% 1,056件	31.2% 563件
②スポーツ関係のグループやクラブ	100.0% 1,805件	1.2% 22件	5.3% 95件	3.2% 58件	3.1% 56件	2.9% 52件	55.0% 993件	29.3% 529件
③趣味関係のグループ	100.0% 1,805件	0.8% 14件	2.2% 40件	2.3% 41件	8.4% 152件	6.1% 111件	51.3% 926件	28.9% 521件
④学習・教養サークル	100.0% 1,805件	0.2% 3件	0.3% 6件	0.6% 11件	3.0% 55件	3.5% 64件	60.2% 1,087件	32.1% 579件
⑤介護予防のための通いの場(サロンなど)	100.0% 1,805件	0.4% 8件	0.4% 7件	0.9% 17件	1.8% 32件	1.9% 35件	62.7% 1,131件	31.9% 575件
⑥老人クラブ	100.0% 1,805件	0.4% 7件	0.2% 3件	0.3% 5件	1.7% 31件	4.1% 74件	61.8% 1,115件	31.6% 570件
⑦町内会・自治会	100.0% 1,805件	0.4% 8件	0.2% 4件	0.3% 6件	3.4% 62件	23.4% 422件	43.9% 792件	28.3% 511件
⑧収入のある仕事	100.0% 1,805件	10.9% 197件	4.3% 77件	1.1% 19件	1.3% 24件	4.5% 82件	49.2% 888件	28.7% 518件

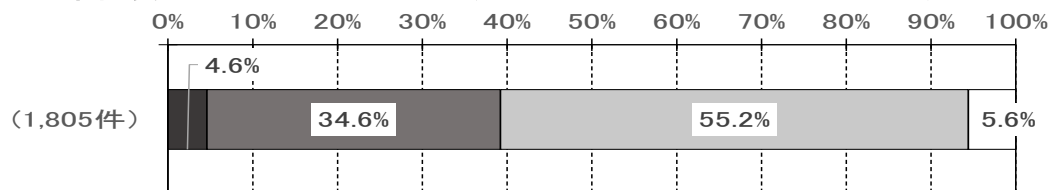
社会参加活動への参加状況をみると、全体的に「参加していない」という回答が多くなっています。

年に数回以上参加しているという回答が多いものは⑦町内会・自治会（27.7%）、⑧収入のある仕事（22.1%）、③趣味関係のグループ（19.8%）などとなっています。

特に週1回以上という参加頻度の高いものは、⑧収入のある仕事で16.2%と1割を超えています。その他に1割を超える活動はありませんでした。

高齢者が主体的に社会活動・地域活動に参加することにより、地域共生社会の構築につながることから、敬老行事の地区主催への移行や高齢者ボランティアポイントの推進等による外出機会の創出のほか、地域包括支援センターや市老連、シルバー人材センター等と連携しながら社会参加を促す取組を行います。

7. 現在の幸福度（“とても不幸”を0点、“とても幸せ”を10点として設定）



0～3点
 4～6点
 7～10点
 無回答

現在の幸福度をみると、「5点」が22.6%でもっとも多くなっています。

平均すると幸福度は6.9点で、「7～10点」が55.2%と半数以上を占めています。

		n	0～3点	4～6点	7～10点	無回答	平均
全体		100.0% 1,805件	4.6% 83件	34.6% 625件	55.2% 996件	5.6% 101件	6.9点
経済的状況	“苦しい”	100.0% 784件	8.8% 69件	42.7% 335件	42.7% 335件	5.7% 45件	6.3点
	ふつう	100.0% 938件	1.2% 11件	29.5% 277件	64.2% 602件	5.1% 48件	7.3点
	“ゆとりがある”	100.0% 44件	4.5% 2件	6.8% 3件	86.4% 38件	2.3% 1件	8.2点
共食の機会	毎日ある	100.0% 838件	3.0% 25件	33.2% 278件	59.1% 495件	4.8% 40件	7.1点
	週に何度かある	100.0% 102件	6.9% 7件	32.4% 33件	57.8% 59件	2.9% 3件	6.8点
	月に何度かある	100.0% 269件	2.6% 7件	33.5% 90件	58.7% 158件	5.2% 14件	7.0点
	年に何度かある	100.0% 272件	3.7% 10件	39.7% 108件	51.1% 139件	5.5% 15件	6.7点
	ほとんどない	100.0% 180件	14.4% 26件	41.1% 74件	36.7% 66件	7.8% 14件	5.9点
趣味の有無	趣味あり	100.0% 1,202件	2.8% 34件	30.9% 372件	62.5% 751件	3.7% 45件	7.1点
	思いつかない	100.0% 500件	9.4% 47件	44.2% 221件	39.8% 199件	6.6% 33件	6.2点
生きがいの有無	生きがいあり	100.0% 1,062件	1.7% 18件	27.1% 288件	67.3% 715件	3.9% 41件	7.4点
	思いつかない	100.0% 625件	10.1% 63件	47.5% 297件	36.3% 227件	6.1% 38件	6.0点
友人・知人と会う頻度	毎日ある	100.0% 88件	3.4% 3件	31.8% 28件	62.5% 55件	2.3% 2件	7.1点
	週に何度かある	100.0% 463件	2.6% 12件	26.8% 124件	66.3% 307件	4.3% 20件	7.3点
	月に何度かある	100.0% 607件	3.5% 21件	36.7% 223件	54.2% 329件	5.6% 34件	6.9点
	年に何度かある	100.0% 330件	5.2% 17件	37.9% 125件	54.8% 181件	2.1% 7件	6.8点
	ほとんどない	100.0% 257件	11.3% 29件	42.0% 108件	37.0% 95件	9.7% 25件	6.0点
現在の健康状態	“よい”	100.0% 1,369件	2.8% 39件	30.4% 416件	64.0% 876件	2.8% 38件	7.2点
	“よくない”	100.0% 367件	11.4% 42件	53.7% 197件	30.0% 110件	4.9% 18件	5.7点

		n	0～3点	4～6点	7～10点	無回答	平均
全体		100.0% 1,805件	4.6% 83件	34.6% 625件	55.2% 996件	5.6% 101件	6.9点
家族構成	1人暮らし	100.0% 361件	6.1% 22件	40.2% 145件	49.6% 179件	4.2% 15件	6.5点
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	100.0% 647件	4.6% 30件	32.5% 210件	57.0% 369件	5.9% 38件	7.0点
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	100.0% 46件	2.2% 1件	21.7% 10件	71.7% 33件	4.3% 2件	7.8点
	息子・娘との2世帯	100.0% 402件	4.2% 17件	33.8% 136件	55.7% 224件	6.2% 25件	7.0点
	その他	100.0% 318件	3.8% 12件	35.8% 114件	55.3% 176件	5.0% 16件	6.8点
介護・介助の 必要性	介護・介助は必要ない	100.0% 1,520件	3.4% 51件	33.6% 510件	58.2% 885件	4.9% 74件	7.0点
	何らかの介護・介助は必要だが、 現在は受けていない	100.0% 124件	12.1% 15件	36.3% 45件	42.7% 53件	8.9% 11件	6.2点
	現在、何らかの介護を受けている	100.0% 125件	12.0% 15件	45.6% 57件	33.6% 42件	8.8% 11件	5.9点

<属性別にみた回答傾向>

家族構成別にみると、「1人暮らし」よりも、「夫婦2人暮らし」や「息子・娘との2世帯」といった回答者の方が幸福度の平均点は高く、経済的状況については「ゆとりがある」という回答者の方が幸福度は高くなっています。

また人と食事をする機会や友人と会う頻度などについては、人と接する頻度が高いほどおおむね幸福度が高く、趣味や生きがいについては持っている回答者の方の幸福度が高くなっています。

現在の健康状態別にみると、健康状態がよいほど幸福度は高くなっています。

「幸福共創」を第二次能代市総合計画でまちづくりの基本理念としています。

高齢者が社会で元気に活躍するためには、自らの豊かな知識や経験等を活かして、積極的な社会参加等ができる環境づくりが必要です。

高齢者の幸福度を上げるため、人と人、人と社会がつながる包摂的な地域共生社会の実現を目指します。

8. 高齢者施策や介護保険事業について（自由記載）

※原文のまま記載（個人等を特定できる記載は、表現を変更しております）

回答内容	居住地区	年齢	性別
介護保険料の負担が気になります。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
能代市政に日々ご尽力いただきありがとうございます。自由記入させていただきたく思います。空想ですが、能代にも公園をそなえた道の駅のような場所があればいいと思います。公園には草花をたくさん咲かせ、散歩できるように車イスでも可能なようにし、道の駅には老若男女、小さな子供達も遊び集える場があればいいと思います。木で作った遊具、テーブル、軽運動ができと誰でも自由に使用できるように…。そして生産者やものづくり、手作りが好きな人は教えたり、販売したり、食べたり…。能代の特産を生かしながら、冬期間でも地元で楽しめる場があれば、子育て世代は時間とお金をかけて秋田まで行かなくとも、又高齢者には積極的に外出や交流を図る場があれば、介護予防につながると思います。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
※これからお世話になる機会が有ると思っているので、よろしくお願い致します。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
この様なアンケートが届く事が自分も高齢者になったのかなど促される様であまり嬉しくありませんが、何れお世話になるのかと思うと内容をしっかり把握しておきたいと思えます。今までは興味がなかったのも、施策や事業の事は目に入らなかったというか目に入れませんでした。個人が最低知っておくべき事柄はこのアンケートの様な直接個人に知らせてもらえればありがたいと思えます。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
介護保険料の算定の見直しを希望する。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
介護保険料が高いと思う。年金がたりなくてこまっている。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
訪問介護の様な事を市の方では無料に出来ないか。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
介護保険事業やっているとはわかりませんでした。パンフレットなど、配布したら良いと思う。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
今まだ健康に過ごしているけれど、これから体が動かなくなって施設に入るとすれば、市にはどのような施設があるか、また費用はどの位かかるか知りたい。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
今現在、自分自身普通通り生活出来ていますので、意見はありません。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
いろいろ対応していただける施策にはありがたいことだと思っている。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
認知症などになり、施設への入所が必要になった場合、スムーズに入所出来るようにしてほしい。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
健康でいたいと思うが、この先施設に入ることになったとき、お金のことが心配である。自分は家族と住んでいるが、1人暮らしの人はいろいろ大変だと思う。必要ときに介護をスムーズに利用できると良い。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
後期高齢者保険料額、介護保険料額、高い。高過ぎる。生活費を圧迫している。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
高額な介護保険料は厳しい限り。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
・耳のきこえない人について、訪問による検査と補聴器の補助をしてほしい。・おむつ代の補助の基準をかんわしてほしい(実際に購入している人には補助してほしい)。	本庁	65～74 歳 (前期高齢者)	男性
今の処、深く理解はしていないが、出来るだけ自力で生活出来るように頑張っけてゆきたい。ただ、保険料が年々高くなり、生活を苦しませており、医療保険等をすべて解約した。これが今の現実である。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
自分の国民年金では介護施設には入れないので、不安である。	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性
自分の住む周りには、更地、無住の住宅がしだいに増えるとともに、高齢者の「一人暮らし」「二人暮らし」が増えてきています。このような地域社会の疲弊の状況の中でも“がんばる”あるいは“がんばらざるを得ない”状況の中で	本庁	75 歳以上 (後期高齢者)	男性

回答内容	居住地区	年齢	性別
は「日常生活」を助ける、きめこまかな在宅介護サービスの充実を望むものです。また、医療の面においても「在宅医療の充実」(訪問医、訪問看護の充実)を望むものです。			
今のところ具体的には考えていないので、特に要望も意見も思い当たることはありません。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	男性
・ご本人、介護認定を受け、2021年3月からデイサービスを利用中。本人だけではアンケート記入出来なかった為、ケアマネジャーが補足する。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	男性
現在、病気の妻を自宅で介護している。(訪問看護を利用)(寝たきり)・金銭的に大変。施設の利用、介護保険等に具体的に相談する場所があればいい。・施設の利用(条件、金銭、他)を私が利用することを考えている。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	男性
回りが独り住まいの高齢者。できることであれば、頻繁な民生委員などの声掛け、特に冬は買物のサポートが必要と思われる。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	男性
高齢者施策や介護などにまだ必要としない自分にありがたいことと思っています。しかしいつまでもこのままではいけないので、子供たちの手をかり、社会の世話になることは考えています。その時のため、施設や介護がわかりやすくなくなればありがたいと願っています。とにかく日々の生活を大切に送るよう心掛けていますので、皆さんも市民のためにがんばって下さい。ありがとうございます。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	男性
・市の高齢者施設に入所するには、最低でもどれ位の金が必要なのか、市の公報に掲載をお願いします。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	男性
我家は家のローンも抱え、夫の収入だけでは補えず、長い間妻の私がWワークで夜昼と働き、田舎町でやった事もない農業でバイトを頑張って来ました。5年前頃から身体に痛みを感じ、一昨年に寝起きも不自由になり、人工股関節挿入手術しました。慣れぬ仕事で限界でした。入院費用やら働けなくなる収入及びお金の問題で、今後の事は先が見えません。手術予定の病気があるが、生活苦で入院する訳に行かない現実で、その上に介護保険料を年金から引かれ、安い国民年金で生活する事に余裕なくてしんどい思いです。3年前程から私の身体事情から、障害も受けられなくなり、職を探すも年齢的に外れたりし、どうして良いか分かりません。能代地域では、親から施しある中で生活する人達が多い様ですが、私達夫婦はよそから転入者で、その様な裕福な条件何ひとつなく暮しています。むしろ精神的に参る事柄が多く、能代で高齢者施設は選べないです。シニアに働く場が農業系列が多いではキツ過ぎます。収入上財産など望めなく、老後の不安つゆります。市役所は現実が分らない事が多過ぎます。業務を上手くこなすでは、実情は見えていません。本当の所の解決策が欲しい願いです。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
今現在は身体に問題がないので、身近に感じていませんが、普段からいろいろな情報を知っていればいざという時の不安が少し軽くなると思います。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
高齢者施策の事業の中に音楽活動、絵画、運動トレーニング、食生活の指導(支援)等、取り入れてほしいです。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
デイサービスに行きたくない人(施設に入りたくない人)の手助けができればなあと思います。問の助け合いがボランティアやパート等でできれば助かる人が多いと思います。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
関係ないかもしれませんが、物価高(冷熱費)が悩み。介護が必要になった時、年金(今の)では…と不安になります。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
介護保険が高くて苦しい。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
介護施設の厨房に勤務しています。介護員の方たちの頑張りにはいつも感心しています。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
・介護施設のお世話になる時、受給している年金額内で入れる施設があるのか心配しています。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
60歳から年金をもらった。その時は介護保険がひかれてなかったのがよかったが、65歳から急に介護保険ひかれたので、2人で年に10万なのでびっくりです。大変です!!	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
一人暮らしの高齢者もたくさんいますが、亡くなった後、空き家が多くなるのが目にみえています。都市開発などして、持ち家を寄付したりして、冬でも暖かく過ごせる街づくりをできたら、これからの高齢者の暮らしも安心なものになるのではないのでしょうか?	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
実際に自分や家族が利用しないと、実感として感じられないので、利用している人たちの声に耳を傾けるようにしています。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
介護保険について。今の自分は一度も介護保険の世話になっていません。病気になることなく生活したいと思い、ウォーキングなどで体をきたえ、努力しているからと思います。近所にもおりますが、食っちゃ寝の生活スタイルの人が何人かおります。たいがい体調も歩くことに関しても、具合悪いようで何らかの介護を利用しているようです。ちょっと冷たいようですが、ちょっと不公平さを感じています。このままでいくと、介護保険料の値上げとなる日も近いと思います。どうか使用している人の自己負担を少しふやしてもらう方向でということをご提案します。年金生活者はたいへんです。保険を使わず生活している人のことも考えて下さい。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
近所の高齢者(80代)夫婦(子供さんや、援助者近くにいないみたいです)のゴミ出しルールがまったく守られず、ステーション前の自分が10年以上も後始末しているが、だんだん高齢(お互い)になり、この先心配！ゴミ出しくらいのを誰に相談したらいいかわかりません。(民生委員さんに相談すればいいのでしょうか)小さいことですが、都会ではトラブルになっているニュースを見ることもあり、直接言うのもたいへんです。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
・個人の生活の場としての高齢者施設であってほしい。(自由にくつろいだ雰囲気etc)	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
現在健康で生活も安定して、不自由はありません。従って年金から引かれていた健康保険料や介護保険料がどんどん上がって行くのは不満ですが、自分が使っていないだけ健康な証拠だと思って、誰かの為になれば仕方ないかなと思っています。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
1ヶ月40,000の年金で介護保険料年間65,000はきつい。これって死ぬまでお世話にならないければ、どうなるのか？そしてお世話になってもかなりのお金がかかるとのこと？できればおさめたくない！	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
今は夫婦で16万円ほど、介護保険払っていますが、将来施設のお世話になりたい時、年金の範囲内で入所できるのか大変不安になります。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
保険料が高すぎる。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
高齢者施設に入所は順番待ちとかスムーズに入所出来たらと思います。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
とてもよく運営できていると思われる。夫が入院時は市役所の方はとてもよく援助していただき、私は前向きな気持ちになりました。感謝です。この能代に住んで幸せです。みんなで力をあわせて生きぬきます。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
施策や事業について、広報等で時々目にすることがありますが、いざ必要な時にどんな手順で相談すればよいかかわかりません。今までわかってこなかった面もあると思います。が、いよいよ後期高齢者となり、身体的にも精神的にも弱くなってくると、一人暮らしでもあり、非常に心細さを(不安)感じています。いざというときに、どんな支援があり、相談窓口はなどと一覧表になっているものがあればいいなと思います。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
・私は30代後半頃、実父、実母の介護をしました。病院、仕事、家事と夢中でやってきた何年でした。今思うとその当時は病院でも高齢者の介護の相談というのはなかったような気がします。(もしくは私が知らなかったのかも)・私の向かいの89歳のおばあさんは何かあるとヘルパーさん、訪問看護師さんが来て病院にも連れて行ってもらったことが出来、何とない時代になったのかとつくづく思うこの頃です。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
現在は利用する必要はないのですが、必要になった時、公共の高齢者施設にすぐ入居できるようになったらいい。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
これから先、団塊の世代の私達が施設に入る事ができるかどうか心配しています。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
まだ利用した事がないのでわかりませんが、高齢者のためのこのアンケートを見て、能代では安心して暮らせると思いました。	本庁	65～74歳 (前期高齢者)	女性
ご苦労様です。いっぱい高齢者がいるのに、ありがとうございます。よろしくお祈りします。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
年金は少ないのに、介護保険料は高くなる一方なので、おさめる方も大変です。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
自分がお世話になるようになったらいろいろな事があると思いますが、それでは遅いので勉強させていただきます。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
可能なことは、どんどん進めて下さい。健康測定とか、講習会等、専門の方々のものは行って欲しい。ただ、実施すればいいのではなく、できるだけ先端	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
のことを指導して下さい。一般的なことは、TVetcから耳に入っています。日々ご苦労様です。			
これからは、お世話になる事が沢山あると思います。老人は優しい笑顔で親身に接して頂けたらうれしいし、安心します。どうぞよろしくお願い致します。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
保険料が高く、年金生活にひびきます。(外出できません)	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
介護保険料が国民年金額の15%、20%以上の金額で高額に不安になります。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
病気以外で高齢により自活できなくなった際は、市の高齢者施設等に入所したいと思っていますので、地域包括支援センターを頼りにしています。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
関係が無い施設かも知れませんが、最近公共施設に入浴の為にひんぱんに友人、知人と向かい、日本間(大広間)に休みますが、それぞれ膝の激痛の為、ヒザを折って座れません。飲食(お茶等)たしなむにも、足を投げ出したり、ザ布団4枚も重ねたり、それぞれ大変な工夫をしている状態です。何卒どこにでも今は備えられているそれなりの座イス(高い)の設備をご一考下されば幸いです。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
ショートステイ、グループホームの空待ちで困っている人達が多い。ケママネジャーさんの多忙は大変と思う。物価高は介護する家族だけでなく、医療全般、国民の暮らしそのものが逼迫している。行政だけでなく国の問題だと思う。私達は中学の社会の時間に地方政治は国の悪い政治にしっかりと立ち向かうこと、と習いました。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今後近い将来お世話になるためにも、自身もいろいろ学び、年齢を受け止めて楽しく笑顔を添えて施設での日常生活を穏やかに過ごしたいと思います。利用者の方々のお話もこれから意識して大切な人生を目標に前向きに頑張ります。意見になりませんが宜しくお願いします。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
みた所施設の食事内容は合わない感じ。それに自由もないし…。脳卒中、認知症にはならないよういろんな事に励んでいるつもり。保険料が年金月受け取り額より多くて困っております。そこで何か迄に支援が必要としない場合、その分としてタクシー券とかもらえたら大変助かります。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
高齢になってほとんどの人は足腰が弱ってきている中で、下半身の衰えで歩けなかった人が、市町村主催の健康体操教室(山梨か岐阜か忘れましたが)に通い続けて歩けるようになった記事を、去年テレビでやっていましたが、能代でもこういった取り組みを1ヶ月とか3ヶ月とか短期間ではなく、通年やってくれたら助かる人達が、沢山居ると思います。(指導者に一流の人を招くのは無理にしても…)	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
高額でなく、介護施設に入所出来るよう順番待ちがないよう施設を沢山作ってほしい。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・シルバー券。女性だけの三世代家族です(80才、38才、7才)。おおむね65才以上の高齢者のみの世帯となっている様ですが、38才は働いており、7才は小学生です。こういう世帯も視野に入れてくれると有難いです。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
私の年金収入では入所施設に限られ、受けられるサービスに限られると聞きました。とても不安です。保険料も払い続けているのに、不公平な扱いを受けるのは納得できません。市独自の介護支援を強く望みます。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
主人は老人ホームに入所して頂き、本当に助かりました。感謝しています。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今はまだ健康ですが、自分のことが出来なく介護でお世話になるようになれば、年金が少ないので心配します。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
冬期間の除排雪について、知りあいや業者などをお願いしても来てもらえない状況です。現在市単独事業としてシルバー券(除雪分4枚)の発行がありますが、時期が重なる関係もありシルバー人材センターで対応できない体制です。制度があっても活用できない状況です。活用方法について検討してもらいたいと思います。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
施策や事業の内容についてはほとんど知らない。(今まで幸いにも必要としなかったから)配偶者も老いてきているし、2人の子供たちも遠方なので(大阪、アメリカ)、これからがとても不安で心配。高齢者施設や介護保険事業などもっと身近に知りたと思っています。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
息子は都会で家族生活しているし、こちらは高齢で1人身だし、最後は施設や病院でお世話にならねばと思っております。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
高齢者施設にお世話になると思います。その時は宜しくお願いいたします。	本庁	75歳以上	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
		(後期高齢者)	
今は介護認定も受けてないですが、いずれ近い将来高齢者施設に入りたいと思っています。代筆(妹)。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今の所一人で車での通院、買物していますが、何時どうなるのか先の事はわかりませんが、不安な時は有ります。余りわかりませんでしたが、他人にお教えていただきました。お世話になるように成りました時は、何卒よろしくお願い致します。毎日のお仕事御苦労様です。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
道路の除雪ですが、両側に均等にしてもらいたい。問とは違いますが。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
腰痛で介護申請をし、週1で1時間ヘルパーさんの介助を受けております。ガマンにガマンを重ね、思い切って介助を受けました。そんなにガマンをしなくとも、もっと早く(プライドを捨て)受ければよかったと思っています。ヘルパーさんは、1時間でもテキパキとトイレ、浴場など掃除をこなしてくれています。感謝です！！	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・施設に入所を検討していますが、利用料が年金でまかなえるか心配です。できれば利用料を安くできる補助金のようなものがあればいいのですが。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
介護保険の要支援1の認定を受けていたのですが、令和4年11月末での更新の時に、利用の状況がないとのことで、更新がされませんでした。現在は家族がいろいろと支援をして生活が成り立っていますが、突然支援が必要になった場合は、すぐにまた認定証が交付されるのでしょうか？前回認定決定の時もかなり時間を要しましたが、もしそれまでサービスを利用する時は、一時金額負担になるのでしょうか？すぐにサービスを受けられるのでしょうか？現状で利用がないから更新ならないということですが、年々介護サービスが必要になってくる年齢なのでなぜでしょうか？	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
高齢者施設等を年何回かしらせてほしい(入所状態とか)。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
1. 今現在は少しの用事、病院、かいもの他を足していますが、自家用車を返納しますと大変不便になります。自宅玄関からスーパー→病院など近くに行ける交通機関があれば助かります。(制度)2. 少ない年金から(高齢者)税金を徴収しないよう要望します。何時も担当の方々にはご難儀をかけています。感謝いたします。健康に配慮しがんばってください。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・ヘルパーさんのお世話になり、大変助かっております。ありがとうございます。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
超高齢化社会と言われる社会で、高齢者になり不安に思うことが多くなりました。高齢者施設に入所することはできるのだろうか。病気になった時入院して治療を受けることができるのだろうか。年金で生活していけるのだろうかと本当に心配になります。大変な世の中になったなあつくづく思います。なるようになれという気持ちになってきます。高齢者福祉施策の充実を図っていただき、誰もが高齢になっても安心して生活できる社会をめざしてがんばっていただければと心より願っております。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今のところ何の心配も不自由も感じていないが、この先々どうなるか心配です。	本庁	75歳以上 (後期高齢者)	女性
妻が透析を受け始めたのですが、能代まで行く車に乗るスペースがあるのに対象外だと車に乗せてもらえず、今自分の車で行っています。他の地域では(みたね)とてもいろいろ考えて、沢山の手助けなど、すばらしい物があるのに対して、能代はもう少し考えを新ためた方が良くかと。透析も生きていくための大切な大事な命です。もう一度考えて見て下さい！！もう一度！！お願いします！！市長さん必ず話をして下さい。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	男性
手続き等を行なえる時は良いが、年をとって出来なくなった時の連絡をどうするか。仕組が理解出来る状態の時に周知してはどうか。活用出来る人は良いが、人知れずに孤独死する人も居ると思う。民生委員の見直しも含めて。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	男性
※だんだん食事の順備がめんどうになってきた。配食サービス等があれば利用したい。※今は必要ないが、いずれ買物が困難になってくるので、支援してほしい(軽トラ、スーパー等)。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	男性
介護保険料が引き落としされていますが、介護されない場合、支払った保険料はどうなるのか知りたいです。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	男性
現在はありませんが、3年前に他界しました。母がデイサービスでは大変お世話になり、今でも感謝しています。本当にありがとうございました。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	男性
妻が世話になっており大変感謝しています。	二ツ井	65～74歳	男性

回答内容	居住地区	年齢	性別
		(前期高齢者)	
機能回復するためのリハビリ専門施設が近くにあればいいと思っています。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	男性
この場合、施策や事業について、具体例を示してくれると助かります。いわゆる実施例を一欄表にして示してくれたら大変助かります。例えば、「高齢者施策」ではこんなことを計画し、実施している。「介護保険事業」としてこんなことが行なわれている。等が分かるととても助かります。ご苦労をかけますが、できるでしょうか。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	男性
問12については、具体的にこうしてはと言う意見の問題ではありません。根本的に国策として改革しないと将来的に立行かなくなるのでは。人口減少の問題から入って行かないとダメでしょう。政治家の皆さんが自分の票ばかりを計算している様では改善ならないと思います。政治家に根性があるって、国民を引張って行って来れる人が出て来るのを待つのみです。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	男性
意見はありません。一人よがりですが、堂々した人生をのぞんでいる。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	男性
介護施設への外国人労働者の受け入れに反対です。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
進んで意見が言え、行動できる高齢者(介護者)が多いと思いますが。そうでない方々も、小さな気づきで平等な社会であってほしいと思います。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
施策や事業発信していることを自分が注意してみてこなかったのが、これからよく見るようになりますが、相談場所など回覧のようなお知らせがほしいです。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
65歳からの高齢者ですが、この調査は70歳以上寄りの質問が多かったような気がします。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
家族が施設でお世話になっております。私にも対応がやさしく、ありがたくおもっております。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
前期高齢者、後期高齢者について、年齢だけの区別で実際に何がちがうのかみえにくい。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
介護保険が高く生活費が足りない。もう少し下げられないか？また支援を受けなかった高齢者に年一度、いくらかでも戻らないものか？	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
特養の入居条件について…重症の方が出来るだけ早く入居できるようにして欲しい。症状が軽くても、入居しているウワサを以前に聞いた。現在ほどのような審査しているのか？ある法人の理事長は長らく常勤ですが、非常勤で十分でないでしょうか。それを知っている地区の皆は、疑問に思っている。他地区は非常勤である。是非改善して欲しい。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
・介護保険サービス利用できている人以外の少しでも元気な高齢者が参加できるいろいろなサークルがあればいい。・男性の高齢者が(特に独居)参加できる場所があればいい。・保険外でいいので、歩行困難(特に通院時)、バス移動もできないときに利用できる移送サービスがあればいい。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
コロナによってボランティアでやっていた集りができず、残念に思っています。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
趣旨と違うかも知れませんが、介護認定を受けても施設入所は難しく、利用までの時間が長く、大変な事が続きます。万が一、動けなくなった時の事を考えると、不安が先に立ちます。利用したい人達があふれていますよね！！健康で過ごす事できるように、がんばりたいですね！！	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
夫がパーキンソン病と診断を受け、6年目になります。歩くことがむずかしくなり、介護施設へ入所しているが、長くなるとお金が心配です。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
自分の年金で施設に入れるようにして下さい。今の年金では生活をするのにも大変です。チョコツとの時間を働きながら頑張っていますが～これから先が心配です。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
義母、利用(週2回)、大変ありがたいと思っております。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
一人暮らしの高齢の母が施設の入所を考えた時、やはり空きがなく、申し込みの順位でいつになるかとのこともありでしたが、やっと運良く入所できたとしても、看取りのできる施設でなければ途中で移らなければならず、その途中で何ヶ所かの施設への申し込み書類等を提出しなければならず、いろいろ大変な思いをしました。もっと安心して最後迄過ごせるような施設があったらと思います。また、両親を看送り、さて私達が施設の事を考えると、施設入所が	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
できるかとまたまた不安です。毎月高額介護保険料を年金より引き落とされていますが、なんともいえない不合理を感じます。			
私はまだまだと思っていましたが、1年前とは身も心も頭もおとろえを感じているところです。これから少しずつついていきたく、お世話いただく時にはぜひお願いしたいと思います。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
この先、高齢化、一人暮らし、認知症が最多くなると思います。毎日楽しみながら、老人達が遠慮せず集まる場所を作ってほしい。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
家族がお世話になり大変感謝しております。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
団塊の世代、1人暮らしとします。将来、介護が必要となった時、施設利用が(入所等)スムーズに可能か心配があります。最後まで在宅で過ごす事が出来るよう、24時間対応の可能な施策など希望します。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
現在はぜひいたくしなければ何とか心穏やかにくらししているが、将来施設に入所となれば、年金額が少ないので心配。	二ツ井	65～74歳 (前期高齢者)	女性
施設に入居者様、1ヶ月の支払等高価。介護職員給料安価、考慮して下さい。年金より介護保険料、後期高齢者保険料支払により、今後生活が大変になると思います。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
路線バスについて。原油価格高騰がバス事業に多大な影響を及ぼしていることから、平日の便を維持するため実施するお知らせチラシをバスの中で見つけた。「年末年始」特例ダイヤ、度々あるので困っている。病院等は休みでなく予約診察であったのに。「お盆期間」は「土、日、祝」ダイヤである、これも不便である。あの大きなバスに私一人の時もある。冬期間もいろいろ問題が出てきている。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
低所得でも早く入所出来るように願う。入所しても、子供扱いしないでほしい。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
保険が年年高くなるのでこまります。施設にもう少し入所しやすくしてもらいたい。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今の所、自分の身に変化がでて来てないので、余り感心ないのですが、今後の為にもっと感心をもって勉強しておかなきゃと思って居ます。宜しくお願い致します。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今現在は何とか出来ていますが、この先はわかりません。車がないので、タクシーを使用している。雪なげも今は何とかやっています。これからの事はわかりませんが、あまり無理しない様にやるしかないと思っています。何かあったらお願いします！！	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
介護度が上がっても、補助になる金額、変わらないので意味がない。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
体が不自由になった時の心配です。お世話になるのが心苦しいです。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
高齢者施策や介護保険事業など受けたことないからわからない事ばかりですが、これからそのつど相談しながらお願いするつもりです。どうかよろしくお願い致します。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
市の高齢者施設等入居者が年々ふえて、自分がいざとなった時どうなるか心配です。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
(1)市の高齢者施策や介護保険事業など考えていただきたいです。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
やがて通る老の道、国民年金で入れるような所があればと思います。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・デイサービスを利用し、充実しています。・施設の入居希望を申込みしているが、何年先になるかわからない。	二ツ井	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・現在65才、これからだんだんとかかわる事なので、勉強して行きたいし、かわらないように毎日健康でありたいものだ！！	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	男性
・特養に母がお世話になり、心からお礼申し上げます。その特養が閉所になくなり、残念でなりません。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	男性
収入減で市の介護保険料支払いが困難で、何とか安くなるようにしてほしい。(物価高で生活困難)	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	男性

回答内容	居住地区	年齢	性別
介護保険料が高いため、経済的に苦しくなっている。(自分は介護の支援を受けていない。)(年金受給者です)	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	男性
良く頑張っていると思っています。高齢者がどんどん増えていくと思いますので、関係職員(定員増)が増えることを願っています。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	男性
介護保険料が高い。後期高齢者医療保険料の2倍以上です。介護保険料のランクがいろいろあるが、所得の高い人からもっと徴収してほしい。年金生活者には重くのしかかっている。	向能代	75歳以上(後期高齢者)	男性
介護保険料が高い。もうすこし下げてください。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	男性
当然の事とは思いますが、施設入所や入院するような状況になったら、本人の要望に沿って、その時の流れの中で、施策を確実に進めて頂ければ、100歳時代が見えて来た、更なる長寿化社会を安全、安心に送ることができるのではないでしょうか。(勿論、市民の施策への協力や努力が益々必要となりますが)	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	男性
介護保険料の負担が重くなってきた。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	男性
今現在では良い方だと思っています。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	男性
・ここ2～3年で地域の医療とは介護とはと家族の入所で体験させられた事を記してみた。家族が転倒で、腰部圧迫骨折で入院(入院前体重45kg)、1ヶ月後退院させられる。(入院中入歯紛失、体重30kg)・リハビリ病院に転院。体重増加を目指すが進まず、結果的に経口から経管栄養に替る。限度3ヶ月でも変化なし(但、この医師から患者の小さい頃からここに至る写真があったら一冊のアルバムにしてくれないかと言われ、少し荒っぽいがまとめて作成して手渡した)。これで介護士さんや他の職員、同室の人達がみて親しみが出て転院時には職員、医師、同室の人達大勢で見送ってくれた。・リハビリ病院の介護士の紹介で、他市の介護老人保険施設に替り、ここで初めて施設長様、医師である方から、このままでは胃ろうになるので経管栄養→経口栄養に変えなければいけないと強いわれお願いした。(入れ歯もお願いする)その結果、2ヶ月後経口栄養になり、少しずつ体重も増え、3ヶ月後歩行器具を使用したリハビリも始めた。・こういうよい状態になると当方の我が儘がでて、今の施設は車で1時間(自宅から)、もう少し近い所はないかなと関係部所にも相談もせず、自分勝手な思い込みで市内の施設に入所希望を出して約3ヶ月後にOKが出て転所した。・しかし、市内の施設に転所したが、コロナ禍で面会は出来ず1ヶ月後再び体重の低下をつけられた。入所時手渡された栄養管理士から数部にわたる計画書はよく出来ているが、要は計画→実行→チェック→調整迄なされているか?その他疑問に思う事が多々有り。しかし入所者への影響も考え強いえない。・ここで初めて転所も考慮し、介護支援専門員に相談し、市内の他施設に紹介してもらい転所した。・現在は介護士さん方が熱心に入所者に接し家族の方にも報告してできるので安心。月に1度は泊れるシステムの為、入所者も家族も満足している。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	男性
介護者、看護師、事務相談員の方々間での情報の共有ができていないと感じる。介護者の利用者への夜間の対応、言葉使い、疑問を感じる。トイレの訴えをオムツしているんだからオムツにしろ!!何時だと思っているんだ!!と言われたとこぼす事が多い。接遇の教育も必要ではないでしょうか?	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
在宅介護に結びつくような高齢者施設の入所法(帰宅を視野に考えられるような)や、寝たきり予防のための介護(予防)をもっと若い(弱年)うちに取り組むようなネットワークを進めて欲しいけれど…難しいところ。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
国民年金では、介護施設に入所するのはなかなか金銭的にむずかしいかなと感じます。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
現在のところ、元気なのでありません。困った時にはお世話になると思いますので、よろしくお願い致します。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
介護保険料が高いと思う。退職したら払っていけるか心配。介護の申請がたいへん。役所、病院等、家族が仕事休んで話しを聞いたり、迷惑かけそうな気がする。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
介護老人施設に入所の家族がいますが、今の所、容態は落ち着いています。胃瘻の管理、身体の硬直予防、1週間に何回かの入浴など、施設で頑張ってもらっています。別の施設へとも考えましたが、1ヶ月に1回の胃瘻交換(施設でとなりの病院に連れて行ってくれる)、痰の吸引などなど	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
考えると、今のままの状態を強く希望しますが、長期入所できます様お願い致します。			
入りたい施設にすぐ入れない。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
高齢者施設は、認知家族がいる家にとってはとてもよい所だとは思いますが、金銭的に高く入所できない人もいます。また、そういう施設に入りっぱなしでなく、家族と一緒に食事し、会話できる機会をもつと、入所者本人もとてもおちつくと思う。それは、それぞれのやり方しだい、良い方向にいくと思う。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
1人暮らしなので今は良いとしても、この先何かある事が一番心配しています！近くに娘は居るけど、見てくれるかどうか不安です！！	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
民生委員の高齢化。役割としては大事と思うが、私より高齢の方に大丈夫ですかと訪ねてこられても「私は大丈夫ですが…」という気持ちになってしまいます。※私含めやってくれる方がいないのでしょうか…。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
あたえるだけではなく、その人が何を考えているか、できるだけ話しをして、その人の心を軽くする、そんなことをしてくれる人がいたらいいと思います。病気に悪いからといって味があまりない食事はどうかと思う。何か良い調味料がこれから先に出回ればいいと思います。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
自分の低年金で世話になれる施設があれば安心である。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
支援センターの役割や内容を知らない人が多いです。知る機会を与えてほしい。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
・今の生活がいつまで続けられるか不安。・親より先に死なないようにしたい。・親の物を整理したい。自分のものも。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
私達高齢者の調査に大変お世話になっております。心からお礼と感謝申し上げます。住み慣れた地域で安心して暮せることを希望します。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
みんな一生懸命、自分の仕事をがんばっていると思います。ありがたいことです。もう一歩。人ひとりが違う人間。気持ち異なります。その人なりを見きわめる力、対応の力を求めます。	向能代	65～74歳 (前期高齢者)	女性
一人で住んでいるので、だんだん年を重ねると心配です。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
高齢者しせつのお金を少なくしてもらいたい。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
高齢者施設、介護保険が高額で年金生活では大変な事です。ピンピンコロリを願っています。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
能代市に移住して丸一年以上になりました。能代の暖かい計画に心うたれております。今79才ですが、敬老の日の暖かいお手紙、初めていただきました。本当に有りがたくうれしくて心うたれました。お手紙くださった浅内小学校にすぐお礼のお手紙出しました。しかし、能代市長様、福祉課の皆様にご一言のお礼の言葉致しませんでした。心残り、誠に申し訳ないと思っております。本当に暖かい心づかい、有りがとうございました。とつてもとつてもうれしかったです。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
私事で大変申し訳ないと思いますが、聞いて頂き書きました。主人が2年前から入院しています。二人の年金でやりくりしているのですが、医療ヒかからないのですが、通院の時はオムツ券頂きましたが、入院になってからは1ヶ月15,000円位、今介護度3で回数が多いみたいです。オムツ券があれば有難いです。助けて下さい。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
足腰が弱くなった時、施設利用のことで、低年金ですのでとても心配です。私達の年齢は祖父母を終る迄見届けて自分の人生の不足が今、これからは特に感じられて来ました。2人と集ればこの話で暮れています。良き世の中になることをお願い致します。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今のところまだ自分の事と感じられず思いがたりません。一人暮らしなので、目の前に差しさまっているのですが、申し訳ありません。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
市役所の窓口の若い方は、マニュアル通りしか受け答えしない。状況判断によって対応する能力に欠けている人が多い。不愉快です。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
市の高齢者施策や介護保険事業につきましては勉強不足で、意見や希望など記入できません。失礼の程、お許し下さい。アンケートのまとめに難儀なさることでしょう。ご苦勞様です。アンケートの一人に選んでいただきありがとうございました。高齢者に寄りそって下さる市の姿勢に感謝です。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
高齢者にたいして介護保険が高いです。	向能代	75歳以上 (後期高齢者)	女性
夫が介護度2で有るので、世話になって居るのでケアマネーさんや、福祉用具センターなどありがたく利用しています。本当にアリガトウございます。	向能代	—	—
国民年金しか支給されていない人たちにとって、介護保険の差し引き金額は？多すぎるのでは。介護施設がこんなにあつてよいのか？また、介護施設増に介護保険がつかわれていると、関係者からきいたが、必要か？	榊	65～74歳 (前期高齢者)	男性
・介護される側だけでなく、介護されない為に努力している人にも目を向けて欲しい。介護されている人にも元気で一人で何でもできる人がいる。基準が分からない。介護されている側が、されない側になるように指導してもらいたい。保険料が上がらないためにも…以上。お仕事御苦労様です。	榊	65～74歳 (前期高齢者)	男性
高齢者施設等への入所希望がある場合は、みんな入所できるようにして欲しい。お金がかかりすぎではないでしょうか。病気を持っている人でも安心して生活ができるようにしてほしい。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	男性
定期的に病院通いをしている身として、心苦しいのですが、年金生活者としては、国保、介護保険の掛金の負担が大きい。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	男性
満足しております。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	男性
今の所はそれなりに何でもできます。しかし、年令的にも時間の問題でしょう。いろいろ考えると、つい不安になります。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	男性
高齢者施設(ショート、入居、グループホーム、多機能等)働いたが、介護者の能力やその個々の人間性等不信に思われることを度々見掛け、短期でいずれもやめてしまった。自分は絶対施設には入りたくないと、自宅で体力をつけられるよう運動しています。介護者の質に問題ありと思います。(表面的には見えないもの)ごく少ない例ではないと思います。(今の保育園問題と同じかなども)時給制で時間外も当然であり、その分無給、時間休も(代替)なし等。また時給10円でも高い所へ仲間の間で情報交換にてすぐに高い方へと移って歩く方の多い事。結局のところ、雇用条件、内容も採用時に説明されない場合がほとんどでした。入所者へ個々の対応が全くされず、夜勤は誰ですか(一人夜勤の為)と朝にこそそと聞かれ、あの人はこわい等の声も聞かれ、何となくわかる状況でした。老眼にて乱筆申し訳ありません。	榊	65～74歳 (前期高齢者)	女性
市の高齢者施設の場所や入居費用などのパンフレットがあつたら教えてほしいです。	榊	65～74歳 (前期高齢者)	女性
介護保険料が高すぎて支払いがなかなか出来ない。	榊	65～74歳 (前期高齢者)	女性
・施設に入所しなければならなくなった場合、すみやかに入所できるように希望している。・また施設に入所しなければならなくなった場合、透明性をしっかりもっていただきたい。・自力で買い物や通院ができなくなった場合、シルバー券しか思いつかないが、もう少し長時間のものや回数が多い券などありますか。また交通費など免除してほしいものなどもあります。	榊	65～74歳 (前期高齢者)	女性
年齢を重ねると、心身ともに不安、戸惑い、諦めetc今まで感じた事の無いものに負けそうになります。どんなに良い施策や事業があつても、それを使って「生きていたい」と思える気力を持ち続けていられるか疑問です。まだまだ想像できないだろうけど、担当者自身が「自分はこの施策や事業を利用したり受けられるだろうか？」という視点で考えてみる事もあればいいと思います。今、時々「子ども食堂」のお手伝いに行くのですが、若い人と一緒に自分のできる事を協力しながら、やれるのがとても楽しいです。同年代の人と過ごす時間も、楽しいものだけど、異年代の人と楽しめる場が事業があれば良いかな？と思います。	榊	65～74歳 (前期高齢者)	女性
※コロナのあたり、特に最近では灯油代、食料品の物価高で気が重く大変ですが、車の運転もできなくなれば、半分死にかけてしまいそうで、とても心配です。(青空を見ながらドライブすると、気も晴れるからです。)私も80代になれば、家の中で一人いるのも淋しくなると思いますが、高齢者がゆっくり過せる空間があれば、「明日はあそこでいろんな人と逢ってお話して…」と、希望のある日々になるかもしれません。(16ページにも書きましたが)できればホテルのロビーのような大きな癒しの空間が欲しいと思います。よく図書館でソファに座りくつろいで本を読んでいる人達がありますが、あんな感じですね。公民館のような感じが入っていれば、もっと素敵だと思います。北高の跡地はどうでしょうか？喫茶店や安い食堂も(昼だけ)あればもっといいですね！	榊	65～74歳 (前期高齢者)	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
運動の為、市内をまわり歩きます。施設の建物がいっぱいありますが、建物が有り、小さな窓があり、まるで刑務所のように見えて、気持ちが落ち込みます。建物の近くに散歩スペースや雑草を取るような庭など見る事はありません。ただ閉じ込めるのではなく、つかれて夜ぐっすりねむる位の開けたスペースが必要だと思います。	榊	65～74歳 (前期高齢者)	女性
市の介護施設の料金等知りたいのです。夫婦の1人が施設に入りますと、残った一人暮らしが経済的に無理かな？と思い、不安でなりません。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	女性
介護保険料が高くていつも心がぐらくなります。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今の処、思いが浮かびませんが、色々な高齢者施設があるのは感謝ですが、いずれ自分がお世話になる時、私の年金ではとうていお世話になる事が出来ないと、とても不安です。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	女性
関係のない事ですけども、前にもアンケートが来ましたが、同じ人に何回もくるのですか。友達にも聞けないし。今はコロナがこわくて余り友達にも遊びにも行けないけれど、そういう事も考えてアンケートを出してほしいですし、ポストが近くにないので、家族にたのんでいます、そういう事考えていますか。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	女性
当事者にならなければ具体的なことがわからない。親は色々お世話になったと思いますが、年数がかなりたっておりますので、適格に述べる事が出来ません。近い将来、自分の身におきることとして真剣に考えるべきだなあと反省します。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	女性
ヘルパーさんに来ていただいてありがたいです。これからもよろしく願います。	榊	75歳以上 (後期高齢者)	女性
介護保険料も高額とられている。	浅内	65～74歳 (前期高齢者)	男性
なんかよくわからない！どのようにするのか、介護保険はどのように使うのかわからない！	浅内	65～74歳 (前期高齢者)	男性
高齢者一人暮らしや家族といっしょでも、介護事業を良く知らず、またはその方法を知らない、わからない人がまだまだいると思っています。コロナの事もあるでしょうが、積極的に訪問が早くできるようになったら良い。	浅内	65～74歳 (前期高齢者)	女性
地域の民生委員が高齢者宅の見まわりや声かけをしてほしいと思う。	浅内	65～74歳 (前期高齢者)	女性
これからますます高齢者がふえて来ると思います。いろんな面で安心して相談出来るシステムを作ってもらいたいです。また年令とともに理解出来ない事がふえて来るのではと不安を感じています。	浅内	65～74歳 (前期高齢者)	女性
少しの年金から、あれもこれもと引かれないうようにしてほしいです。介護している方から多く引くように。	浅内	75歳以上 (後期高齢者)	女性
それ自体がなんなのかわからない。	浅内	75歳以上 (後期高齢者)	女性
施策や事業について、今まであまり関心がなかったの、内容もわからず意見もありません。	浅内	75歳以上 (後期高齢者)	女性
介護保険料高過ぎ！改悪やめろ！アメリカから役に立たない兵器を爆買するカネがあるなら弱者、若者、高齢者のために使うべきだ！「戦争の準備でなく、平和の準備を！」公務員が先に立って考え、行動するべきでは！	扇淵	65～74歳 (前期高齢者)	男性
・夫婦とも80歳を過ぎ、身体が自由がきかなくなってきたので、近々に高齢者施設に世話になりたいと思っています。デイサービスの施設に一度行ってみたいと思っています。	扇淵	75歳以上 (後期高齢者)	男性
介護保険料が余りにも高く、年金の少ない私にとってはきついです。いくら子供と同居しているからと、市の方では思っているようですが、ほんとうに、ほんとうにきついですね。	扇淵	75歳以上 (後期高齢者)	女性
カラフルなパンフ等を作って呼びかけをしている様ですが、パンフだけでは？包括支援センターをもっと手法を変えて広めてほしい。自分がその場になってから「どうしよう」とまどう事が多かったです。	扇淵	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・将来、仮に施設等に入る為の金額。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	男性
認知症の母は施設を利用させていただき、介護保険など利用させていただきました。デイサービスから始まり、ショートステイまで、ケアマネジャーさんか	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	男性

回答内容	居住地区	年齢	性別
ら、施設の方々に大変お世話になり、見送る事が出来ました。大変お世話になりました。			
最近数十年ぶりに実家に戻って来て、まだ良く把握していません。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	男性
・施設料が高額と聞く。利用し易い金額になるよう補助金は出ないものなのか、勉強不足なのでよくわからない。介護保険など、どのように使われているのか、そろそろ深く感心も持つようにしたい。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	男性
幸いまだこのような事柄にお世話にならずに生きていますので、あまりピンと来ないのです。ごめんなさい。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	男性
介護保険料が高すぎるのではないかな？	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	男性
介護保険料高すぎるので、もう少し安くしてもらいたいです。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	男性
・高齢者がお茶とかコーヒー飲んでできるに集まり、時間すごせる場所がほしい。	常盤	75歳以上 (後期高齢者)	男性
二人暮らしなのですが、自分の事が出来ないことが増えると施設に入所とかも考えたりしていますが、そうすると、金銭的な心配があります。近くにいる子供にも世話あんまりかけたくないと思っているので、不安になります。介護保険は年金から引かれているのですが、収入の割に多くて生活しづらくなってきています。その他、健康保険とかも上がっているので、この先心配です。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	女性
認知症の方への対応の仕方の小冊子があって、誰でもすぐ手にとれたら良いのではと思います。昔仕事をしながら親(認知症)の介護をしました。困ったのは知識がなく対応の仕方がわからなかった事でした。近所の方から経験した事を教えてもらえて、とても感謝しています。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	女性
能代市以外の友達が多いので、その人たちのいる地域住民の方々と交流しています。すべて知ることができ、むだになる時間はありません。能代市もスポーツ関係、趣味等のグループがありますが、もう少しきもちがあかぬけたらいいと思う。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	女性
必要不可欠なものだと思います。ただし、今の料金で続いてくれれば！何もかも値上がりし、年金では暮らせなくなる時代がすぐ来るのでは、と不安でしょうがない。	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	女性
市の高齢施設ではないが、入所している母に直接会えない(窓越しの面会できている)のが、もどかしく感じる。(コロナ禍ではどうしようもないのがわかっているが)	常盤	65～74歳 (前期高齢者)	女性
現在足・腰が不自由になって来たので、一番先にどこに相談するのかよくわかりません。	常盤	75歳以上 (後期高齢者)	女性
低年金の自分が近い将来、介護施設を利用するとしたらどうなるのか。市の特養が事業者になって、心配です。	常盤	75歳以上 (後期高齢者)	女性
今までの現状でいいのではないのでしょうか。	富根	65～74歳 (前期高齢者)	男性
人は十人十色であると言われます。そして介護に係わる人も十人十色です。そこに介護のむずかしさがあると思います。そんな中で介護にそしてその為の事業にたずさわっておられる皆様にはただただ感謝しております。ご苦労様です！	富根	75歳以上 (後期高齢者)	男性
介護保険料がこんなに高いとは思わなかった。	富根	65～74歳 (前期高齢者)	女性
今後、認知症の高齢者(若年性も有り?)が、5人に1人とかなどの情報は、日常テレビ、新聞等で流され、不安になるが、先日TVで一ノ関高専で研究が進められている、歩行する時に機器を取り付けると、認知度がわかってくる…みたいなのを放送していましたが、未だ研究途中との事でした。自分の老後の事を思うと、皆さんもそれぞれに心配していると思いますので、市の方で開催する教室も、サンピノや公民館等などは参加しやすい方が多いのですが、もうすこし単位を小さくして、気軽に話し合ったり、教え合ったりする場が近くにあったら良いのでは…と思っています。検査して皆の前で自分の状態があまり良くないなどになったらすると悲しいかもしれませんが、まず「認知症を知る」、人ごとではない事を自覚しなくてはいいですね。	富根	65～74歳 (前期高齢者)	女性
いろいろな資料に目を通して将来に備えています。国、県、市町村に感謝しながらの日々を過ごしています。	富根	75歳以上 (後期高齢者)	女性

回答内容	居住地区	年齢	性別
介護保険事業も大変でしょうけど、朝除雪車の音に雪のよせの事を考えると、心配でねむる事もできません。どうにかならないでしょうか。町内とかシルバーを廻らすとか、自分の所だけでないですから、無理とはわかりませんが、どうにかならないものでしょうか。	富根	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・コロナ禍でも施設で家族と会える様な工夫を援助してほしい。・家族とのつながり、地域とつながりが切れない様な工夫(イベント?)があればうれしい。	富根	75歳以上 (後期高齢者)	女性
鶴形地域に住んでいる者です。雪捨場として、市の指定している場所がありますが、運搬車輛を持っている人であれば利用できますが、高齢者で車輛を持っていない、経済的に豊かでない方には負担が大きいので、近くの公共施設を雪捨場として利用出来るようにしていただきたい。旧鶴形小グラウンド、鶴形保育所のあった場所等(人力でのみ運び入れる事、春に自治会で融雪作業を行なう等の条件はあってよいと思います。)	鶴形	65～74歳 (前期高齢者)	男性
・低所得でも入れる施設を望んでいる。市民でも収入で格差がある家があるので、我々低所得者が入りやすい施設が多くあれば助かる。都会の施設では大変問題がある所が多く、マスコミで話題にのぼるが、能代の施設は親切だと聞いているのでありがたいと思っている。・ヘルパーは重労働なので、賃金をもう少し生活できる程度に上げて、市で補助金を出して、若者の能代市への定着化を考えるようにしたらと思う。	鶴形	65～74歳 (前期高齢者)	女性
・母をデイサービス、ショートステイを利用して介護しているが、利用料金をもう少し補助してほしい。(老老介護で家族全員年金生活では、たいへんです)	鶴形	65～74歳 (前期高齢者)	女性
介護人の言葉がきつい。優しさがなく、感情丸出しで対応している。そんな人が施設内に1人でもいると、こちらの心臓が高なります。	鶴形	65～74歳 (前期高齢者)	女性
近所の年配の方々を見ていると介護の支援を受けている方が多く、自分に何かあっても大丈夫かな、と思っています。施設や事業について、今から調べ、見学できたらもっと安心かな、と思います。	鶴形	75歳以上 (後期高齢者)	女性
・散歩や、近辺に出会った方にはできるだけあいさつを心掛けています。・道ばたでの高齢の方に対しては、できるだけ声かけにつとめています。無理そうなことをしていたら手伝ってやりたい思いです。	—	—	—
今の所72才ですが、体が動きますので、自分なりにやっています。頑張っても何年でも多く続けたいです。	—	—	—
・何をすることもお金がかかるので、市の施策、事業においては経済的な利用者の負担にならない様、御願います。・冬に公道なのに除雪無し在所がまだ沢山あると思います。市でも経済的に大変なのは判かりますが、高齢者にとっては死活問題なので、今一度見直してもらってお願いしたいと思っています。	—	—	—

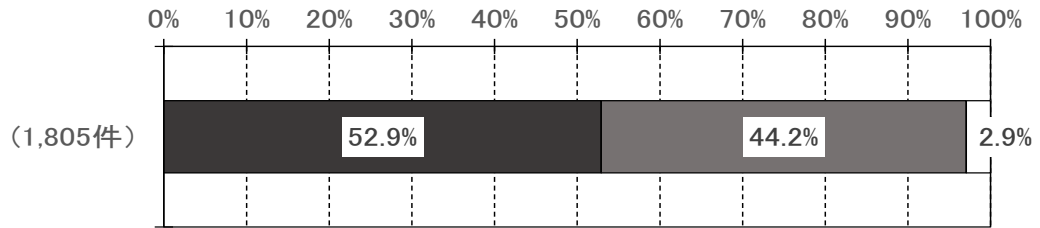
比較的多かった回答内容

- ・介護保険料が高い。
- ・年金が少ない、将来、施設の入所ができるか心配だ(安く入れる施設があれば良い)。
- ・介護サービスはありがたい。
- ・高齢者施策や介護保険事業の周知をしてほしい。

(施設紹介、事業紹介、できるだけ冊子やチラシによる。)

9. 地域包括支援センターについて

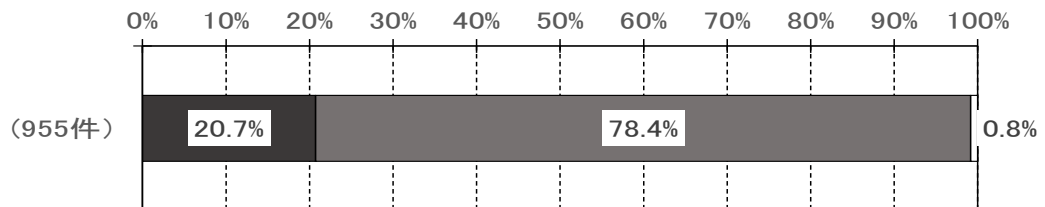
(1) 自分が住んでいる区域の地域包括支援センターを知っているか



■ はい ■ いいえ □ 無回答

地域の地域包括支援センターについて、知っている（「はい」）という回答は52.9%、知らない（「いいえ」）は44.2%となっています。

(2) 地域包括支援センターを利用したことがあるか



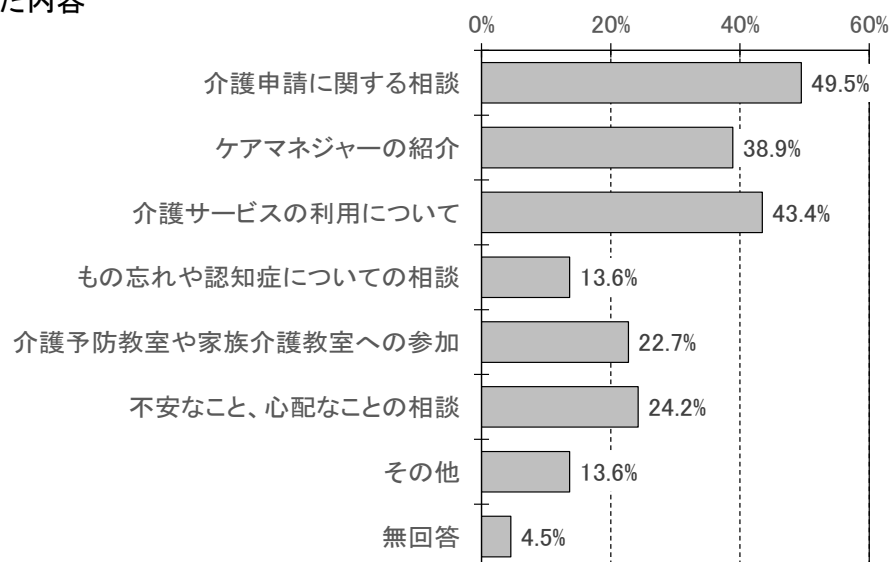
■ はい ■ いいえ □ 無回答

センターの利用状況についてみると、「はい」は20.7%で、「いいえ」が78.4%となっています。

(3) 地域包括支援センターの利用内容と満足度

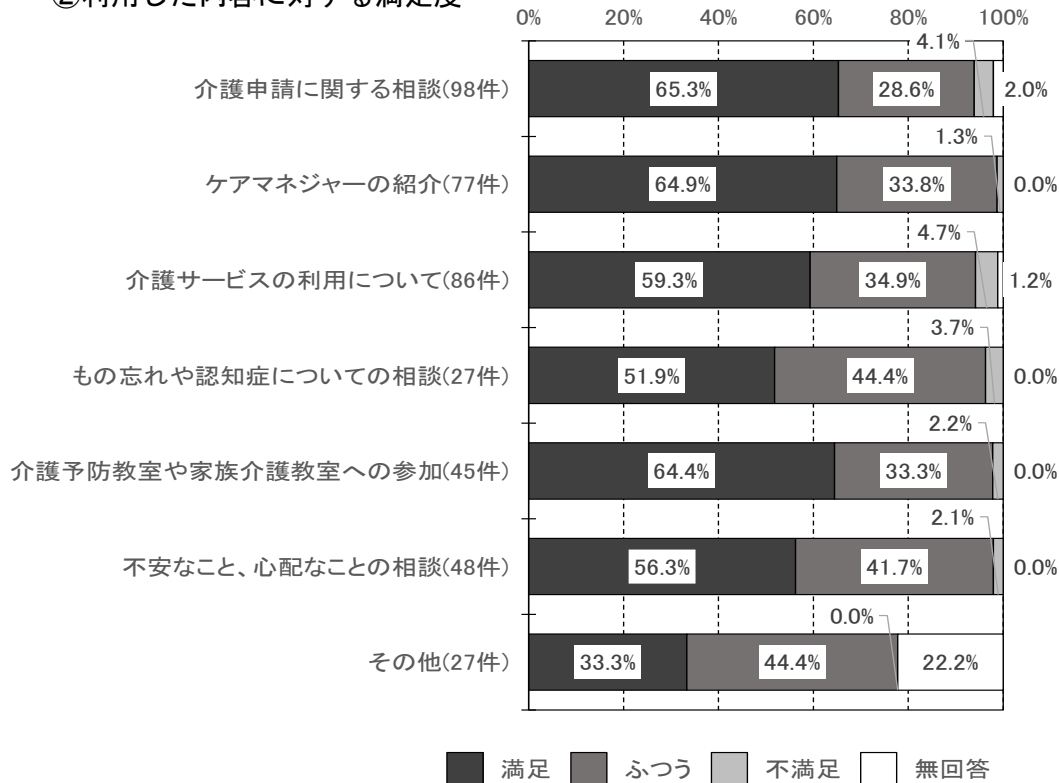
① 利用した内容

(198件)



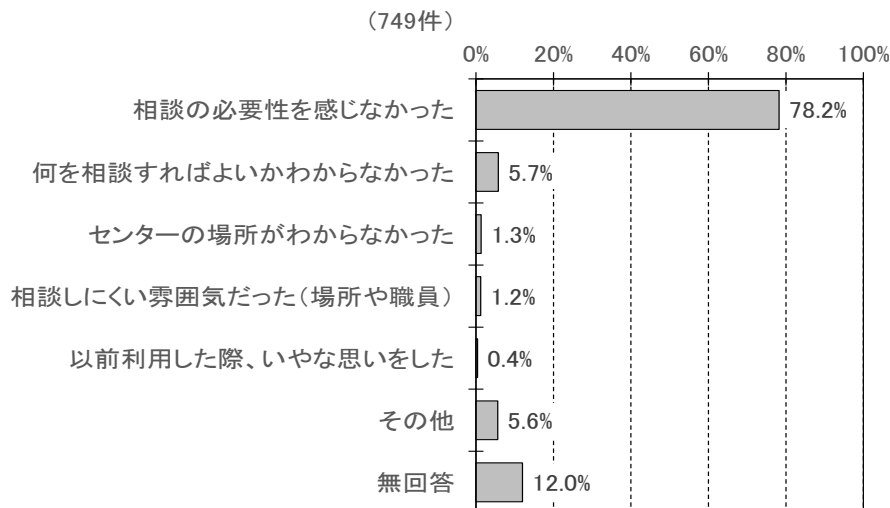
「介護申請に関する相談」（49.5%）、「介護サービスの利用について」（43.4%）がともに4割以上で多くなっています。ついで「ケアマネジャーの紹介」が38.9%となっています。

②利用した内容に対する満足度



特に利用する人が多かった「介護申請に関する相談」、「介護サービスの利用について」、「ケアマネジャーの紹介」では利用した人の6割前後以上が「満足」と評価しています。

③地域包括支援センターを利用していない理由



地域包括支援センターを利用していない理由としては、「相談の必要性を感じない」が78.2%と最も多くなっています。

地域包括支援センターの設置、運営について、今後の高齢化の進展等に伴って増加するニーズに適切に対応するため、機能や体制強化を図ることが必要です。

個人や地域の困りごと相談や複合的な課題を抱える世帯への支援、社会参加の場づくり等、地域包括支援センターが取り組む業務の中で関係機関との連携を強化し、地域のネットワークを強化していくことが必要となっています。

「在宅介護実態調査」の結果概要

調査期間：令和4年9月～令和5年2月

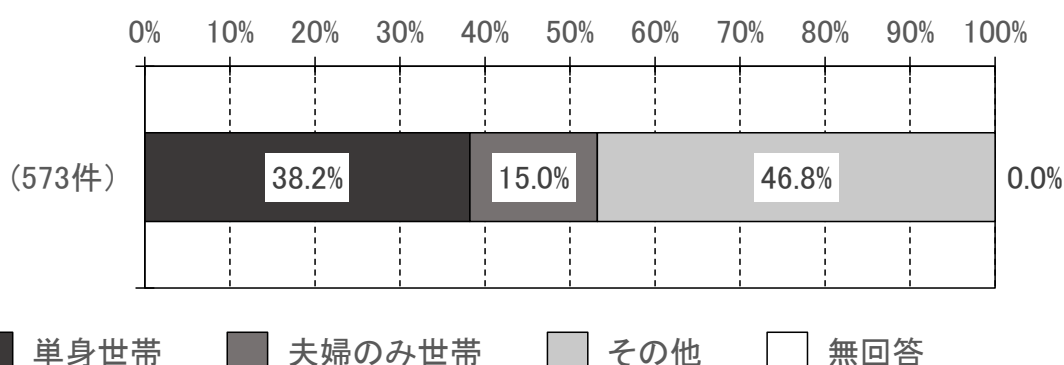
調査対象：要介護認定者とその介護者（要介護認定更新の訪問調査時に併せ調査）

調査結果：602組から回収、うち573組が有効、うち主な介護者有る者が430組

調査目的：「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討する。

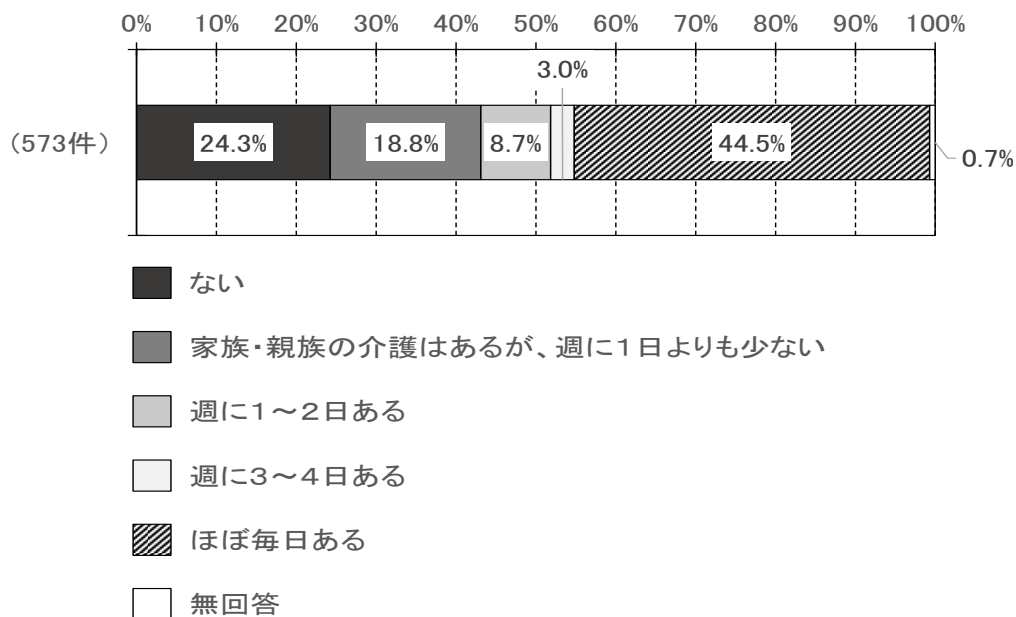
1. 在宅介護の現状

(1) 世帯類型



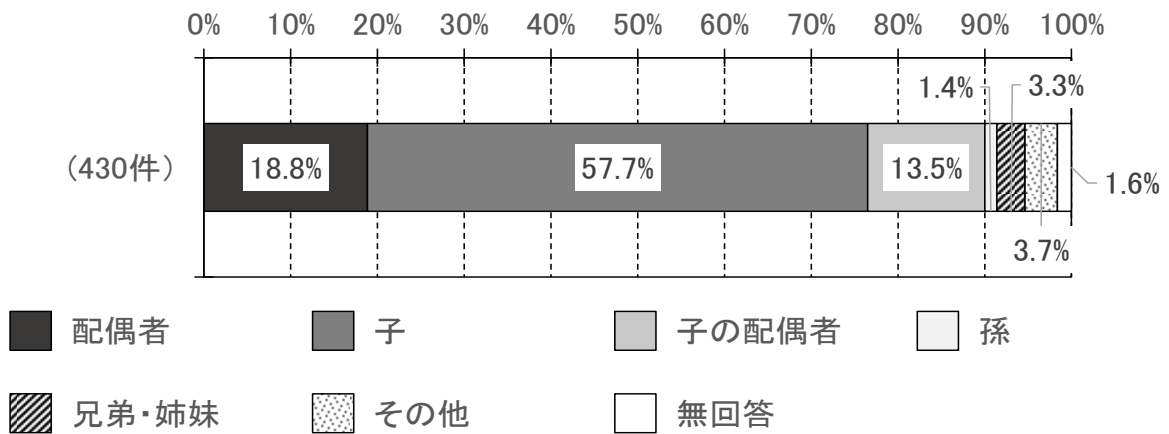
回答者の世帯類型は、46.8%が子ども等と同居する「その他」となっています。「単身世帯」は38.2%と3割以上を占めており、「夫婦のみ世帯」は15.0%となっています。

(2) 家族等による介護の頻度



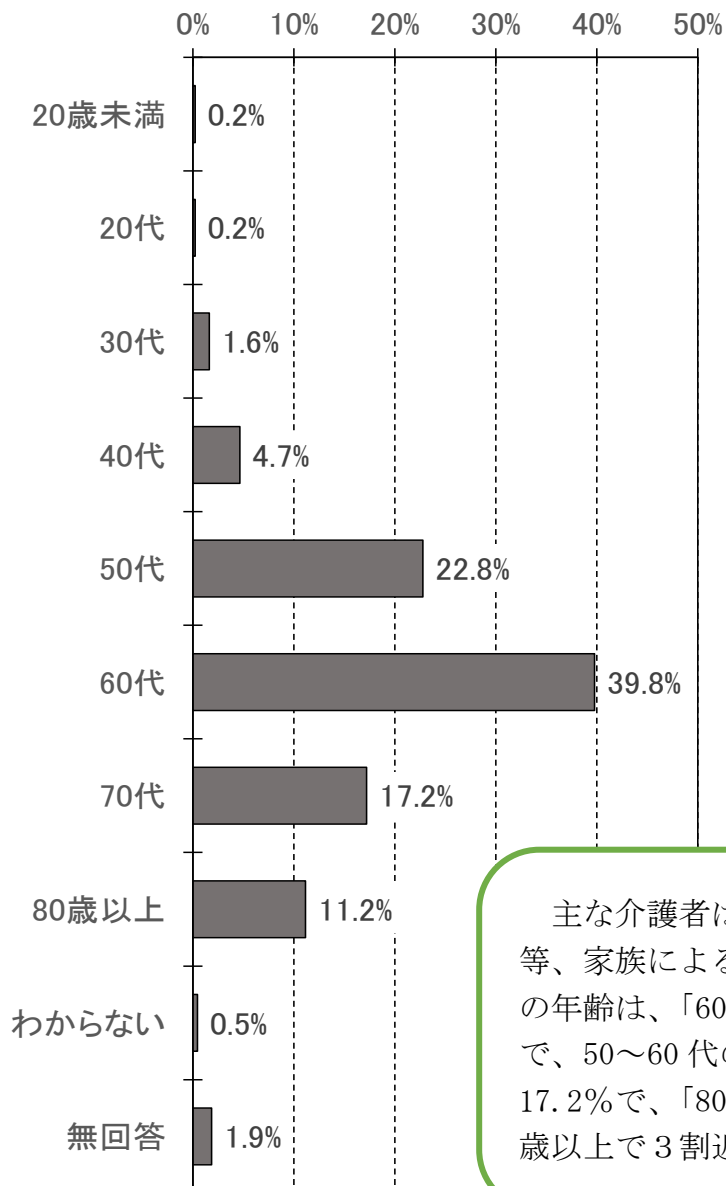
家族等からの介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」が44.5%と4割以上を占めています。

(3) 主な介護者の本人との関係



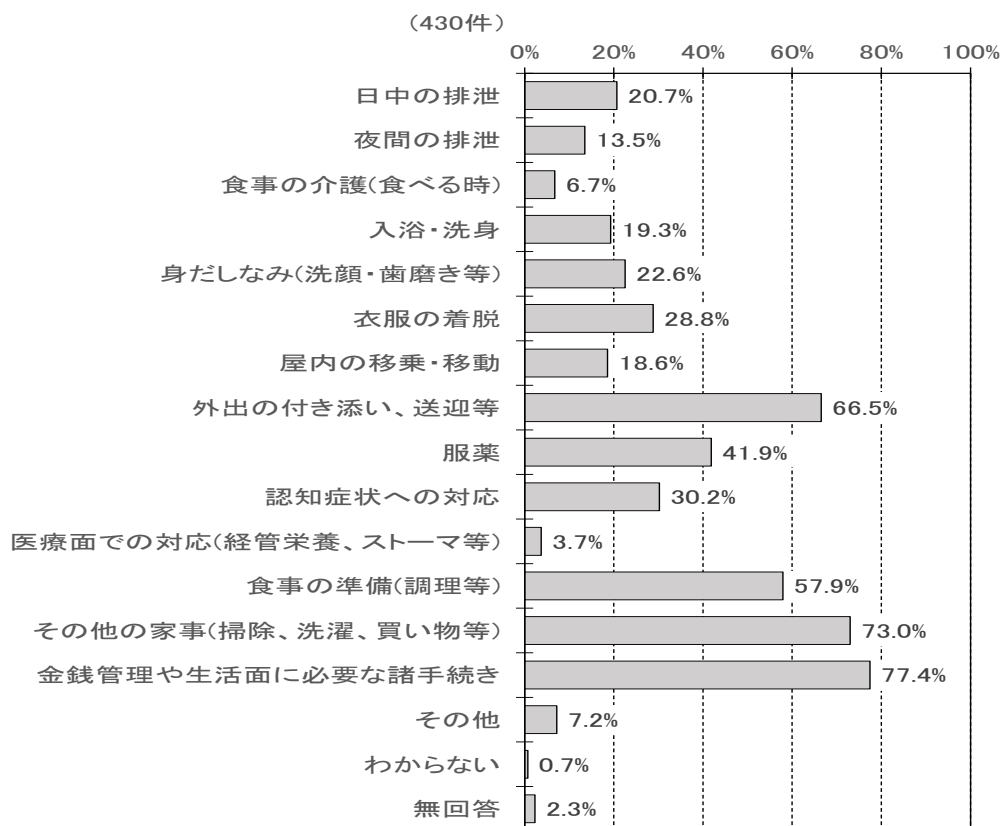
(4) 主な介護者の年齢

(430件)

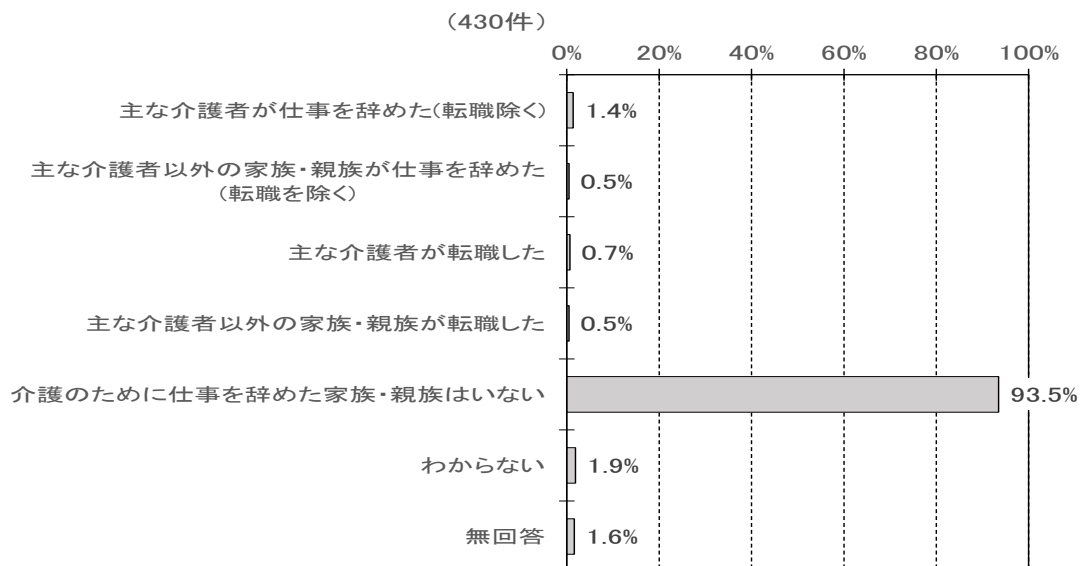


主な介護者は子や子の配偶者、自身の配偶者等、家族による介護が大半を占めていますが、その年齢は、「60代」が39.8%、「50代」が22.8%で、50～60代の占める割合が高く、「70代」は17.2%で、「80歳以上」の11.2%と合わせると70歳以上で3割近くを占めています。

(6) 主な介護者が行っている介護



(7) 介護のための離職の有無

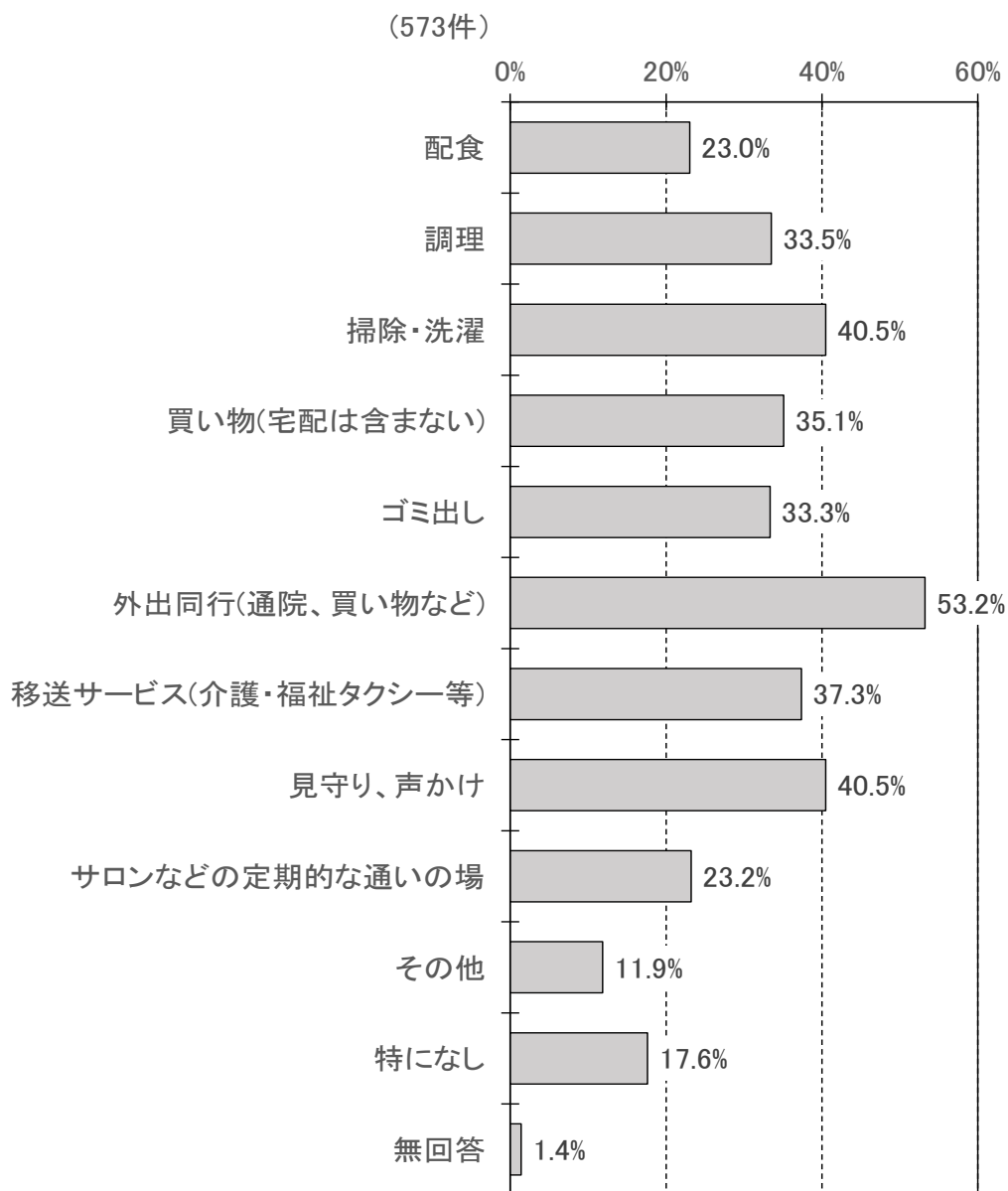


主な介護者が行っている介護の内容としては、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(77.4%)と「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(73.0%)がともに7割以上で多くなっており、ついで「外出の付き添い、送迎等」が66.5%、となっています。

介護のために離職した介護者については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が93.5%と大半を占めています。

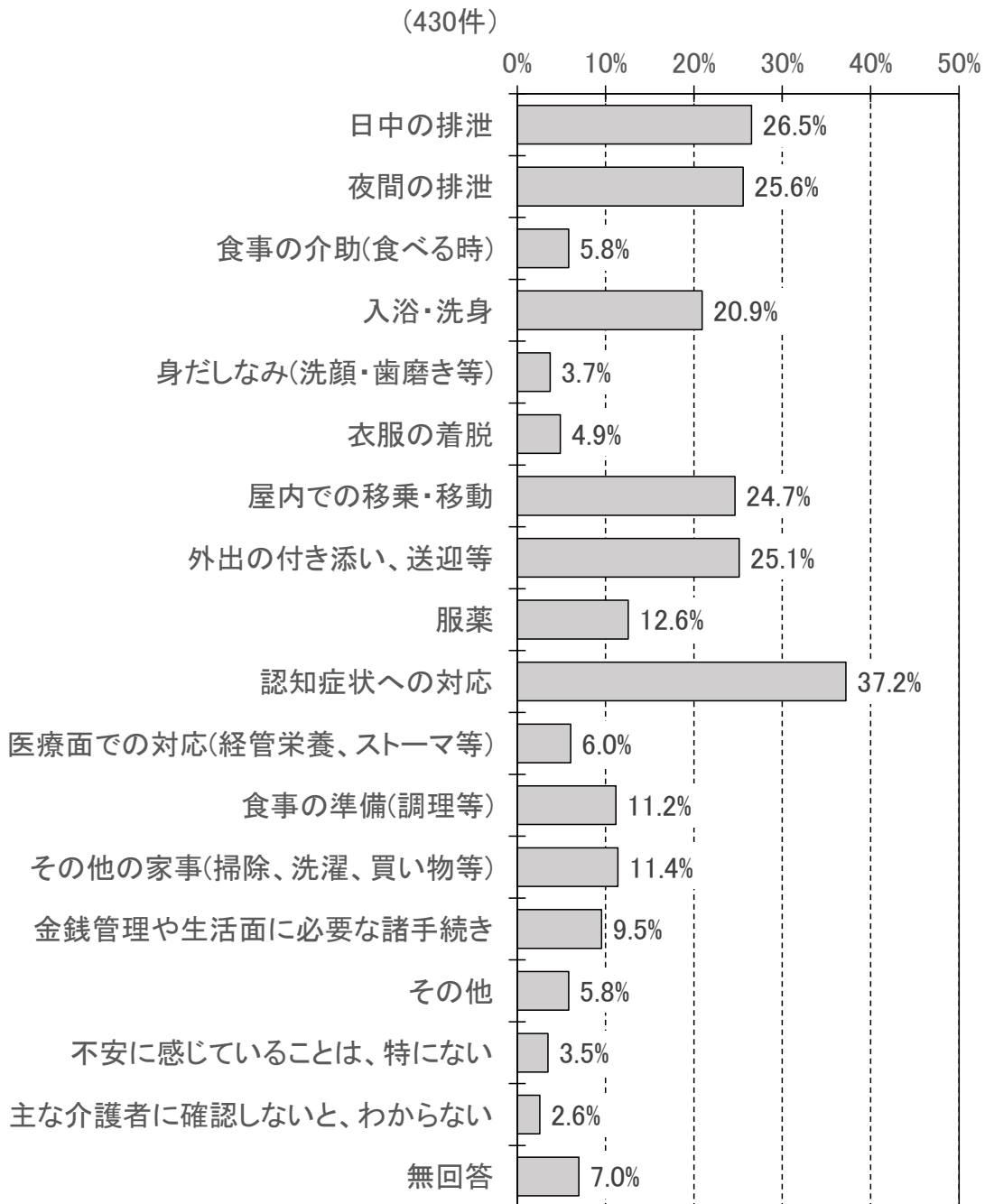
2. 在宅介護の課題等

(1) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス



在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスとしては、「外出同行(通院、買い物など)」が53.2%でもっとも多く、ついで「掃除・洗濯」と「見守り、声かけ」がともに40.5%となっています。

(2) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護



今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護としては、「認知症状への対応」が37.2%でもっとも多く、ついで「日中の排泄」(26.5%)「夜間の排泄」(25.6%)、「外出の付き添い、送迎等」(25.1%)、「屋内での移乗・移動」(24.7%)への回答が多くなっています。

3. 課題等への対応について

・介護離職については、現状では危険視する程度に無いと考えますが、離職や転職をされる方が少ない割合ながらいらっしゃいますので、介護者の負担軽減につながるよう地域包括支援センター等へのご相談を助言するなどにより対応します。

・在宅生活の継続のため、また、介護者が不安に感じている部分をカバーするサービスについては、主に次の3点の検討が必要と考えます。

①「認知症状への対応」…認知症の人及びその介護者となった家族等が集う認知症カフェや家族教室、ピア活動、チームオレンジの立ち上げ支援等の取り組みを推進し、家族等の負担軽減を図っていく必要があると考えます。

②「夜間の排泄」…介護保険制度の利用や家族介護用品支給事業(おむつ券)の交付により、引き続き在宅介護を支援いたします。また、介護事業所と連携しながら、介護者の負担軽減につながるよう適切なサービス提供に努めます。今後も分析や検証を行い、必要に応じて対応の検討を行います。

③「外出の付き添い、送迎等」、「屋内での移乗・移動」

…屋内外の移乗・移動支援については、介護保険制度における訪問介護の乗降介助や介護タクシーのほか、住宅改修や福祉用具貸与等による住環境の整備により対応しておりますが、高齢化に伴い、運転免許証の返納による移動の不自由さも新たな課題であることから、公共交通担当課との連携を含めた支援の検討が必要と考えます。

(4) 能代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定 スケジュール (案) について

1 策定の趣旨

老人福祉法第20条の8に規定する市町村老人福祉計画及び介護保険法第117条に規定する市町村介護保険事業計画として、令和6年度から8年度までの「能代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を、今年度において策定する。

策定にあたっては、国の制度改定等の動向のほか、高齢者を取り巻く環境や、心身の状況、能代市活力ある高齢化推進委員会のご意見等を踏まえ、より地域の実態に即した計画を策定する。

2 策定のスケジュール

令和4年度実施済	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 在宅介護実態調査 介護保険サービス事業所調査
<u>令和5年 7月</u>	<u>○第1回活力ある高齢化推進委員会</u> 第8期実施事業の進捗状況について 各種調査の結果概要の報告について① 計画策定の趣旨とスケジュールについて
<u>令和5年 9月</u>	<u>○第2回活力ある高齢化推進委員会</u> 各種調査の結果概要の報告について② 計画策定における国の動向について 計画の骨子案について
<u>令和5年10月</u>	<u>○第3回活力ある高齢化推進委員会</u> 課題の整理について（各種調査結果等から） サービス見込み量及び介護保険料について
<u>令和5年11月</u>	<u>○第4回活力ある高齢化推進委員会</u> 計画の素案について
令和6年 1月	パブリックコメントの実施
<u>令和6年 2月</u>	<u>○第5回活力ある高齢化推進委員会</u> 最終計画案について
令和6年 3月	計画策定、関係予算計上・条例改正